

平成 2 2 年度 土木部当初予算案の概要

平成 2 2 年 2 月 3 日

福 島 県 土 木 部

1 予算要求・編成の基本方針

新たに策定された福島県総合計画「いきいき ふくしま創造プラン」に基づき、「人がほほえみ、地域が輝く“ほっとする、ふくしま”」の実現に向け、新しい時代にふさわしい社会資本の在り方として、「地域づくりや産業・観光を支援する社会資本」、「安全・安心を守り、適正に管理・活用される社会資本」、「日々の暮らしが快適で豊かになる社会資本」の3つの視点により、各施策を重点的かつ効果的に進める。

平成22年度当初予算の編成に当たっては、県民生活の安全・安心の確保を最優先に、地域が元気で活気づくよう、県の限られた予算の中であって、効率的な財源充当などにより、事業量の最大限の確保を図る。

三つの視点と10のビジョン

- (1) 地域づくりや産業・観光を支援する社会資本
 - ・ビジョン1 産業の活性化を支援します。
 - ・ビジョン2 おもてなしの心を伝える観光を支援します。
 - ・ビジョン3 まちの賑わいづくりを支援します。
 - ・ビジョン4 地域づくり、地域間の交流を進めます。
- (2) 安全・安心を守り、適正に管理活用される社会資本
 - ・ビジョン5 自然災害から命・財産を守ります。
 - ・ビジョン6 適正な維持管理を行い、生活の安全・安心を守ります。
 - ・ビジョン7 積雪地域、過疎・中山間地域の暮らしを守ります。
- (3) 日々の暮らしが快適で豊かになる社会資本
 - ・ビジョン8 水環境などに優しく、美しいふくしまを継承します。
 - ・ビジョン9 地域の住み心地や快適さを向上させます。
 - ・ビジョン10 みんなが元気になる生活環境を向上させます。

2 重点的に取り組む事項

は重点プログラムを推進する個別事業

(1) 地域づくりや産業・観光を支援する社会資本

- ・ビジョン1 産業の活性化を支援します。

ふくしまを元気にする道・みなとづくり 11,934 百万円

- ・国道改築事業（連携軸）
- ・港湾修築事業 外

ふくしま低炭素社会づくりの推進 【新規】【重点プログラム】 17 百万円

（ふくしまの低炭素社会づくり推進事業）森を木づかうふくしま住まいる事業

建設産業の新分野チャレンジを応援 【重点プログラム】 8 百万円

意欲ある建設業チャレンジ支援事業

- ・ビジョン2 おもてなしの心を伝える観光を支援します。

広域連携で観光と地域の元気を回復! 2,909 百万円

- ・地域自立活性化交付金事業

“魅力いっぱい” 磐梯吾妻、来て! 見て! 食べて! 事業 【重点プログラム】 1 百万円

“魅力いっぱい” 磐梯 AZUMA、来て! 見て! 食べて! 事業

- ・ビジョン3 まちの賑わいづくりを支援します。

出逢い・交流する街なかの道づくり 4,276 百万円

- ・重要幹線街路事業
- ・都市計画推進事業 外

漁港とまちが一体となる地域づくり 120 百万円

- ・漁港環境整備事業

- ・ビジョン4 地域づくり、地域間の交流を進めます。

みんなで育もう『地域の宝』 【(一部)新規】【重点プログラム】 702 百万円

元気ふくしま、地域づくり・交流促進事業

- ・地域活力基盤創造事業（関連）

会津広域おもてなしの道づくり 【新規】 17 百万円

・地域活力基盤創造事業（関連）

田舎に住んで民家！？ 【新規】【重点プログラム】 5 百万円

田舎に住んで民家促進事業

(2) 安全・安心を守り、適正に管理・活用される社会資本

・ビジョン5 自然災害から命・財産を守ります。

災害は水から（自ら）守って安全・安心！ 【重点プログラム】 2 百万円

集中豪雨から命を守るプロジェクト事業

土砂災害から守るみんなの命 【重点プログラム】 100 百万円

土砂災害から災害時要援護者関連施設を守る砂防事業

自然災害に強い“ふくしまの道”づくり 【重点プログラム】 2,577 百万円

緊急橋りょう改修事業 外

安全安心ふくしまの家づくりの推進 【重点プログラム】 5 百万円

住宅安全ストック形成事業

・ビジョン6 適正な維持管理を行い、生活の安全・安心を守ります。

“いつでも、いつまでも”安全・安心な道 【重点プログラム】

未来につなげる安全・安心

10,477 百万円

緊急橋りょう改修事業 外（再掲）

・道路維持補修事業、河川維持管理経費 外

・ビジョン7 積雪地域、過疎・中山間地域の暮らしを守ります。

命を守り、雪に強い道路で 地域を支援

里山の暮らしを支える道づくり 【新規】【重点プログラム】

チャレンジ！ふくしま『ゆい（結）の道』作戦～試験除雪

7,877 百万円

・過疎・中山間地域支援の道路関係事業費

- ・冬期交通対策関係事業費

(3) 日々の暮らしが快適で豊かになる社会資本

- ・ビジョン8 水環境などに優しく、美しいふくしまを継承します。

未来へつなげよう！流域連携による美しい水環境 3,631 百万円

- ・下水道事業費

進めよう！環境と人にやさしい『ふくしまエコ建築』

地球に優しく、美しいふくしまを支える道づくり

環境にやさしいモデル工事の推進 【新規】【重点プログラム】 10 百万円

環境にやさしいモデル工事

- ・ビジョン9 地域の住み心地や快適さを向上させます。

やすらぎと潤いを与える緑豊かな都市公園 402 百万円

- ・都市公園整備費 外

ともに考えともに育む身近な生活基盤 1,164 百万円

- ・生活基盤緊急改善事業

進めます！“みんなにやさしい”公共建築 【重点プログラム】 50 百万円

共生のまち推進事業

- ・ビジョン10 みんなが元気になる生活環境を向上させます。

人にやさしく安全で快適な歩行環境づくり 【重点プログラム】 280 百万円

やさしい道づくり推進事業

子育て世帯など、みんなにやさしい 住まいの提供！！ 485 百万円

- ・県営住宅建設事業の一部

(4) 施策展開の仕組みづくり

公共事業における透明性・競争性・公正性・品質の確保

- ・一般競争入札を柱とした総合評価方式など多様な入札制度に基づき、公共事業における透明性、競争性、公正性の確保に努めるとともに、発注者責任（公正さを保ちつつ良質なものを低廉な価格でタイムリーに調達し提供する責任）を果たすため、品質確保対策に取り組むとともに、職員の技術力の向上に努める。

徹底したコスト縮減等マネジメントサイクルの充実

- ・限られた予算で良質な社会資本整備と適切な維持管理を行うため、工事コストの縮減、ライフサイクルコストの縮減等に取り組む。

現場主義の徹底

- ・職員一人一人が「県民の目線で、県民の望むことを、スピーディーに」という現場主義をより一層徹底し、県民からの要望に対する迅速かつ適切な対応に努めるなど、原理・原則に基づいた業務の適正執行を図る。

3 見直しを行った主な事業

- ・国直轄事業負担金

国直轄事業負担金制度の見直しを踏まえ、維持管理費負担金相当額等を削減した。

- ・県の行う建設事業等に対する市町村負担金

県の行う建設事業等の事務費に係る市町村負担金を全廃した。

4 平成22年度の主な新規事業（再掲）

- | | |
|--|-------|
| ・（ふくしまの低炭素社会づくり推進事業）森を木づかうふくしま住まいる事業 外 | 17百万円 |
| ・ 田舎に住んで民家促進事業 | 5百万円 |
| ・ 環境にやさしいモデル工事 | 10百万円 |
| ・ 里山の暮らしを支える道づくり | 5百万円 |
| ・ みんなで育もう『地域の宝』（あぶくまロマンチック街道） | 12百万円 |
| ・ 会津広域おもてなしの道づくり | 17百万円 |

平成22年度土木部一般会計当初予算案規模

平成22年度土木部当初予算案額 1,029億9,268万2千円

・前年度土木部当初予算額 1,092億7,066万4千円に対し、62億7,798万2千円の減、前年度比率は、5.7%の減

・平成22年度県当初予算案額 9,022億2,000万円に対する土木部当初予算額の構成比は、11.4%

土木部当初予算案額のうち、**公共事業費 805億6,820万9千円** (対前年度当初予算比 51億8,196万5千円 94.0%)

公共事業費の内訳

・一般公共事業費 381億3,131万3千円 (対前年度当初予算比 67億4,589万7千円 85.0%)

・県単公共事業費 319億6,020万6千円 (対前年度当初予算比 15億3,753万7千円 105.1%)

・維持補修費 104億7,669万円 (対前年度当初予算比 2,639万5千円 100.3%)

1 公共事業費は、前年度比6.0%の減、うち県単公共事業費は、前年度比5.1%増。

2 維持補修費は、前年度並みを確保(100.3%)。

平成22年度土木部当初予算案額の規模の状況

【一般会計】

(単位:千円、%)

	平成22年度 当初予算案額(A)	平成21年度 当初予算額(B)	増減額(A - B)	比較(A / B * 100)	摘 要
義務的経費	7,954,598	8,608,528	653,930	92.4	
一般事業費	14,469,875	14,911,962	442,087	97.0	
公共事業費	80,568,209	85,750,174	5,181,965	94.0	
一般公共	38,131,313	44,877,210	6,745,897	85.0	
普通建設事業費	19,366,982	23,786,660	4,419,678	81.4	
災害復旧事業費	4,518,624	5,243,566	724,942	86.2	
国直轄事業負担金	14,245,707	15,846,984	1,601,277	89.9	
単 公 共	31,960,206	30,422,669	1,537,537	105.1	
維持補修費	10,476,690	10,450,295	26,395	100.3	
合 計	102,992,682	109,270,664	6,277,982	94.3	

平成21年度と比較するため平成22年度公共事業費については、平成21年度予算と同じ規準により計数を取りまとめている。

【特別会計】

土地取得事業特別会計	3,300,000	3,300,000	0	100.0	
港湾事業特別会計	3,919,289	5,046,460	1,127,171	77.7	
流域下水道事業特別会計	11,215,290	12,413,246	1,197,956	90.3	
(公共事業費)	(3,444,600)	(3,710,600)	(266,000)	(92.8)	
(一般事業費)	(7,770,690)	(8,702,646)	(931,956)	(89.3)	
合 計	18,434,579	20,759,706	2,325,127	88.8	

【一般会計 + 特別会計】

合 計	121,427,261	130,030,370	8,603,109	93.4	
-----	-------------	-------------	-----------	------	--

土木部一般会計当初予算の推移

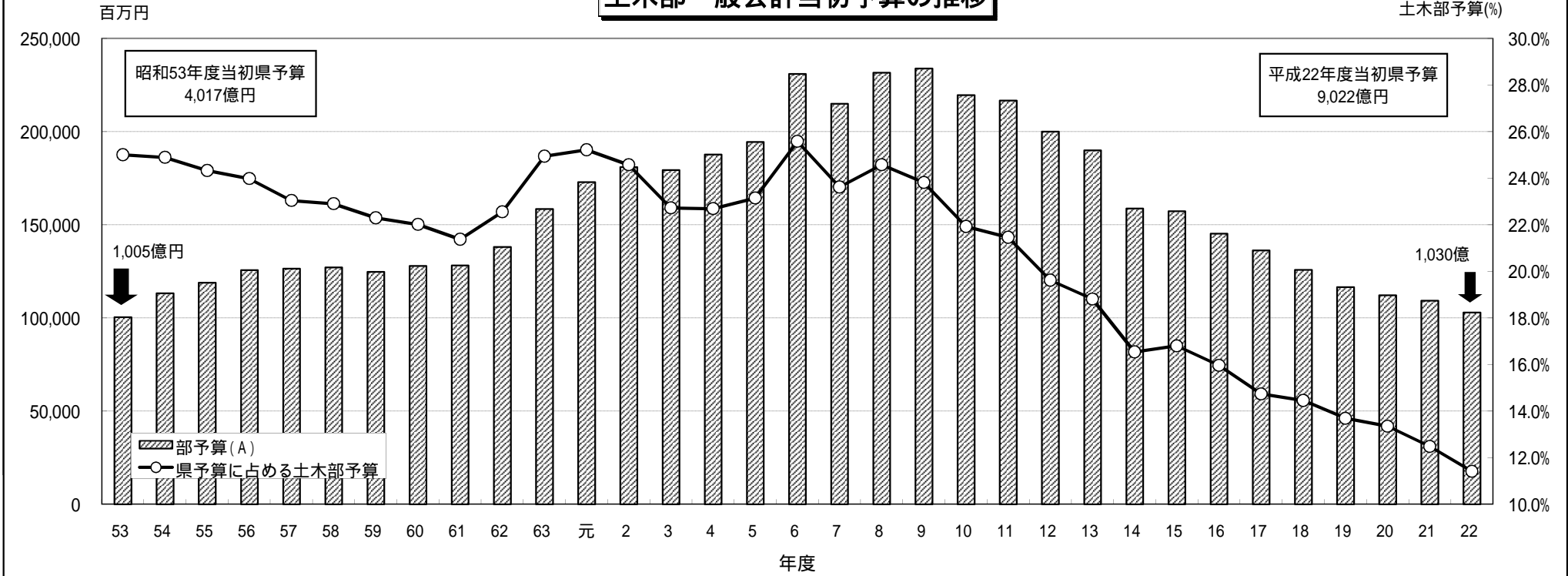
土木部一般会計予算額対県予算額推移表(平成6年度～平成22年度)

単位:百万円

区 分		平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
県予算	当初予算(A)	902,858	910,052	942,672	982,417	1,001,757	1,009,817	1,019,420	1,010,168	959,943	936,633	909,629	925,035	870,929	851,189	840,719	875,448	902,220
	対前年比(%)	107.5%	100.8%	103.6%	104.2%	102.0%	100.8%	101.0%	99.1%	95.0%	97.6%	97.1%	101.7%	94.2%	97.7%	98.8%	104.1%	103.1%
	最終予算(B)	946,217	986,639	972,482	984,640	1,164,690	1,044,228	1,030,273	1,027,795	983,522	924,294	901,772	911,091	871,655	837,152	869,291		
	対前年比(%)	95.2%	104.3%	98.6%	101.3%	118.3%	89.7%	98.7%	99.8%	95.7%	94.0%	97.6%	101.0%	95.7%	96.0%	103.8%		
土木部予算	当初予算(C)	230,947	214,951	231,674	233,933	219,655	216,689	200,014	190,031	158,754	157,353	145,217	136,298	125,890	116,500	112,246	109,271	102,993
	対前年比(%)	118.8%	93.1%	107.8%	101.0%	93.9%	98.6%	92.3%	95.0%	83.5%	99.1%	92.3%	93.9%	92.4%	92.5%	96.3%	97.3%	94.3%
	最終予算(D)	238,589	257,774	232,441	221,075	329,544	240,220	213,622	197,939	185,604	146,936	153,984	135,410	132,229	115,089	114,257		
	対前年比(%)	83.8%	108.0%	90.2%	95.1%	149.1%	72.9%	88.9%	92.7%	93.8%	79.2%	104.8%	87.9%	97.7%	87.0%	99.3%		
構成比	当初予算(C)/(A)	25.6%	23.6%	24.6%	23.8%	21.9%	21.5%	19.6%	18.8%	16.5%	16.8%	16.0%	14.7%	14.5%	13.7%	13.4%	12.5%	11.4%
	最終予算(D)/(B)	25.2%	26.1%	23.9%	22.5%	28.3%	23.0%	20.7%	19.3%	18.9%	15.9%	17.1%	14.9%	15.2%	13.7%	13.1%		

土木部一般会計当初予算の推移

県予算に占める
土木部予算(%)



単位:百万円

年 度	53年度	54年度	55年度	56年度	57年度	58年度	59年度	60年度	61年度	62年度	63年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
土木部予算額	100,459	113,224	118,929	125,642	126,540	127,214	124,783	127,957	128,261	138,146	158,491	172,924	181,052	179,466	187,697	194,460	230,947
県予算額に占める 土木部の割合	25.0%	24.9%	24.3%	24.0%	23.0%	22.9%	22.3%	22.0%	21.4%	22.6%	24.9%	25.2%	24.6%	22.7%	22.7%	23.1%	25.6%
県予算額	401,729	454,818	488,843	523,810	549,210	555,412	559,629	581,216	600,041	612,543	635,482	685,704	736,629	789,818	827,163	840,152	902,858

年 度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
土木部予算額	214,951	231,674	233,933	219,655	216,689	200,014	190,031	158,754	157,353	145,217	136,298	125,890	116,500	112,246	109,271	102,993
県予算額に占める 土木部の割合	23.6%	24.6%	23.8%	21.9%	21.5%	19.6%	18.8%	18.8%	16.5%	16.0%	14.7%	14.5%	13.7%	13.4%	12.5%	11.4%
県予算額	910,052	942,672	982,417	1,001,757	1,009,817	1,019,420	1,010,168	959,943	959,943	909,629	925,035	870,929	851,189	840,719	875,448	902,220

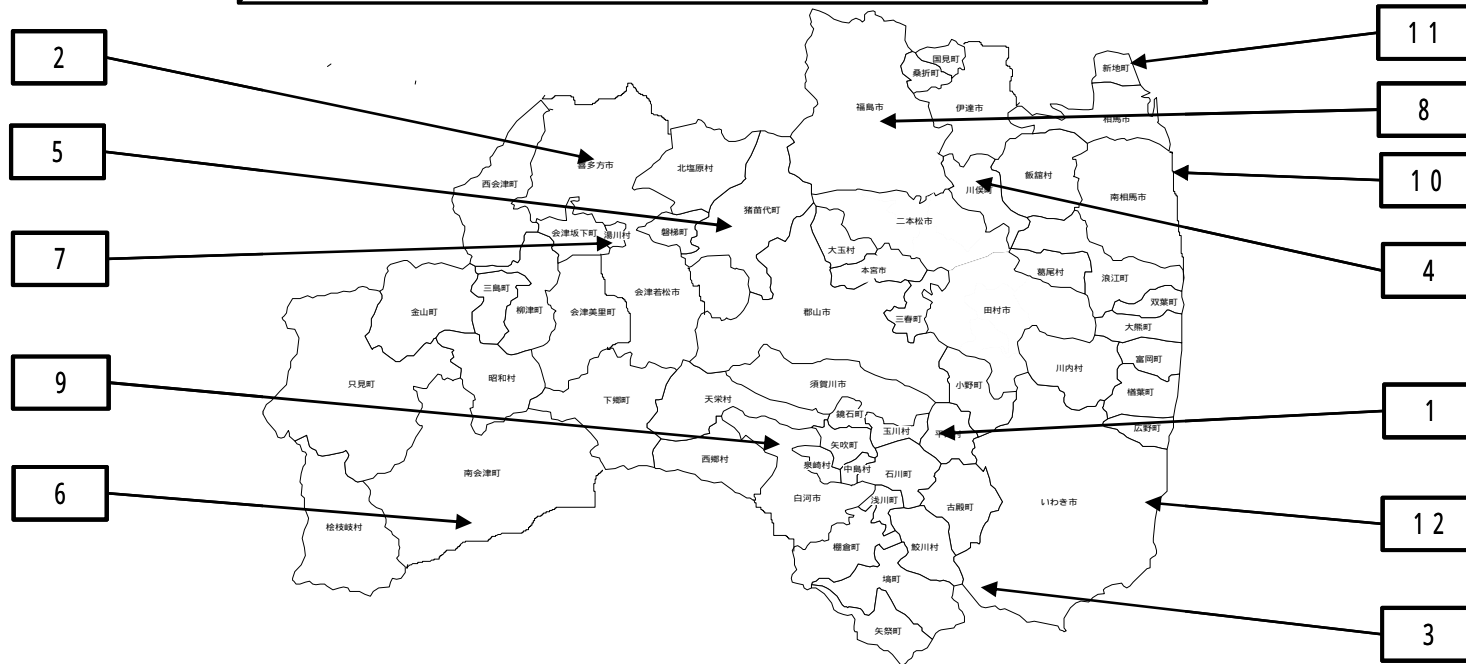
平成22年度 土木部予算重点事業（重点プログラム推進のための事業）一覧

重点プログラム名	課（室）名	事業名及び予算額	新規 継続	事業内容
【プログラム2】 ふくしまの特性を生かした産業の総合力発揮プログラム	建設産業室	「建設産業の新分野チャレンジを応援」 （意欲ある建設業チャレンジ支援事業） 8,241千円	継続	新分野への進出により経営基盤の強化を目指す県内建設業者に対し、経営革新事業への補助、企業認定・表彰制度による入札参加資格加算制度などにより、自主的な取組みを支援する。
【プログラム3】 地域活性化を導くふくしまの低炭素社会づくりプログラム	建築指導課	「ふくしまの低炭素社会づくりの推進」 （森を木づかうふくしま住まいる事業 外） 16,588千円	新規	県産木材産業、県内住宅産業等の振興と二酸化炭素削減を図るため、県内工務店などにより、県産材を一定量以上使用して新築する住宅の建築主に補助金を交付する。
	技術管理課	「環境にやさしいモデル工事の推進」 （環境にやさしいモデル工事） 10,000千円	新規	「省エネルギー」「省資源」「リサイクル」「生態系保全」の4つのキーワードに繋がる環境に配慮した建設資材の使用を推進するため、これらの資材を使用するモデル工事を選定し材料費の一部を助成する。
【プログラム4】 ふくしまのにぎわい創出プログラム	道路計画課	「里山の暮らしを支える道づくり」 （過疎・中山間地域における地域交通確保事業） 5,000千円	新規	過疎・中山間地域において、住民の安全・安心を支える地域交通の確保を図るため過疎・中山間地域の移動実態やニーズ等の調査、改善方策の検討を行う。
	まちづくり推進課	「出逢い・交流する街なかの道づくり」 「みんなで育もう『地域の宝』」 （元気ふくしま、地域づくり・交流促進事業） 662,040千円	継続	県民が主役となり地域の歴史や文化などの各種資源を活用し、持続的成長が可能な個性と魅力ある美しい地域づくりや、交流人口の拡大に結びつく取組みを各主体の役割分担のもと、ソフト・ハード両面から推進する。
	建築指導課	「田舎に住んで民家！？」 （田舎に住んで民家促進事業） 4,597千円	新規	市町村や地域で活動するNPO団体、不動産・建設業団体と連携して「（仮称）空き家・古民家相談センター」を設置して、空き家の情報提供、空き家等の改修や暮らしに関する支援を行う。
	道路計画課	「“魅力いっぱい”磐梯吾妻、来て！見て！食べて！事業」 （“魅力いっぱい”磐梯AZUMA、来て！見て！食べて！事業） 886千円	新規	磐梯吾妻地域における有料道路等の利用者と観光客増加を図るため、各団体とともにPR活動、イベント等を一体となって実施する。

平成22年度 土木部予算重点事業（重点プログラム推進のための事業）一覧

重点プログラム名	課（室）名	事業名及び予算額	継続	事業内容
【プログラム5】 健康で生きがいに満ち、安全で安心なふくしまづくりプログラム	道路整備課	「人にやさしく安全で快適な歩行環境づくり」 （やさしい道づくり推進事業） 280,000円	継続	高齢者や障がい者を含むすべての人が安全に安心して利用できる歩行環境を確保するため、施設利用者等のニーズを的確に捉えながら、歩道の拡幅・段差改善、視覚障がい者誘導用ブロックの設置、休憩所の設置、透水性舗装の舗設等を実施する。
	営繕課	「進めます！“みんなにやさしい”公共建築」 （共生のまち推進事業） 50,373円	継続	人にやさしいまちづくり条例の対象となる既存県有建築物を、高齢者や障がい者を含むすべての人が安全に安心して利用できるよう、施設利用者等のニーズを的確に捉えながら、県有建築物の改修等を実施する。
	道路管理課	「自然災害に強い“ふくしまの道”づくり」 （緊急橋りょう改修事業 外） 2,576,800円	継続	県民の安全で安心な生活を支えるため、高度成長期以降に集中して整備され、今後、急速に老朽化が進む橋梁の長寿命化対策を実施するとともに、緊急輸送路の橋梁について、大規模な地震に対応した対策を行い、戦略性を持ち計画的に維持管理を推進する。
	河川計画課	「災害は水から（自ら）守って安全・安心！」 （集中豪雨から命を守るプロジェクト事業） 2,034円	継続	近年、集中豪雨が発生していることから、水災害情報図の作成・公表や子どもの水難事故を防ぐための出前講座の実施など、「犠牲者ゼロ」を目指した取組みを推進するとともに、地域と連携した水災害対策の推進を図る。
	建築指導課	「安全安心ふくしまの家づくり」 （住宅安全ストック形成事業） 5,137円	継続	既存木造住宅の耐震化を促進するため、技術者向けの耐震改修講習会の開催、市町村が行う住民向け耐震化説明会への技術者派遣、市町村が実施する木造住宅耐震診断への補助等を実施する。
	砂防課	「土砂災害から守るみんなの命」 （土砂災害から災害時要援護者関連施設を守る砂防事業） 100,000円	継続	近年多発する土砂災害から、災害時要援護者関連施設を守るため、警戒避難体制整備のための土砂災害警戒区域等の指定によるソフト対策や土砂災害を防止するハード対策を実施する。

平成22年度に完成を予定している主な箇所



番号	区分	事業名	路線名・河川名等	工区名	所在地	主な工種
1	道路	地方道改築事業ほか	(主)矢吹小野線[あぶくま高原道路]	石川母畑IC～蓬田PA(5～6工区)	玉川村、石川町、平田村	道路改良
2	道路	国道改築事業	国道121号	大峠道路	喜多方市	道路改良
3	道路	国道改築事業	国道289号	荷路夫バイパス	いわき市	道路改良
4	道路	交通安全施設等整備事業(交付金)	国道349号	川原田	川俣町	歩道
5	道路	交通安全施設等整備事業(交付金)	国道459号	三ツ屋	猪苗代町	交差点改良
6	道路	地域活力基盤創造交付金事業	国道352号	八総バイパス	南会津町	道路改良
7	道路	地域活力基盤創造交付金事業	(一)浜崎高野会津若松線	笈川	湯川村	歩道
8	砂防	通常砂防事業(交付金)	くるみ沢		福島市	溪流保全
9	急傾斜	急傾斜地対策事業(交付金)	樋ノ口		白河市	擁壁
10	漁港	農山漁村地域整備交付金	真野川漁港		南相馬市	沖防波堤、物揚場
11	海岸	農山漁村地域整備交付金	釣師浜漁港(海岸)	大戸浜	新地町	人工リーフ
12	住宅	公営住宅ストック総合改善事業	県営住宅 梅ヶ丘団地	8号棟	いわき市	住宅リフォーム

路線名で(主)は主要地方道、(一)は一般県道です。

平成22年度に完成を予定している主な箇所

写真は、工事中または現況のものです。



1 あぶくま高原道路
(石川母畑ICから平田西IC方面)



2 国道121号(大峠道路)



3 国道289号(荷路夫バイパス)



4 国道349号(川原田)
歩道設備



5 国道459号(三ツ屋)
交差点改良



6 国道352号(八総バイパス)



7 浜崎高野会津若松線(笈川)
歩道整備



8 くるみ沢
通常砂防



9 樋ノ口
急傾斜地対策



10 真野川漁港



11 大戸浜(釣師浜漁港・海岸)



12 県営住宅 梅ヶ丘団地
住宅リフォーム

土木部予算案の概要

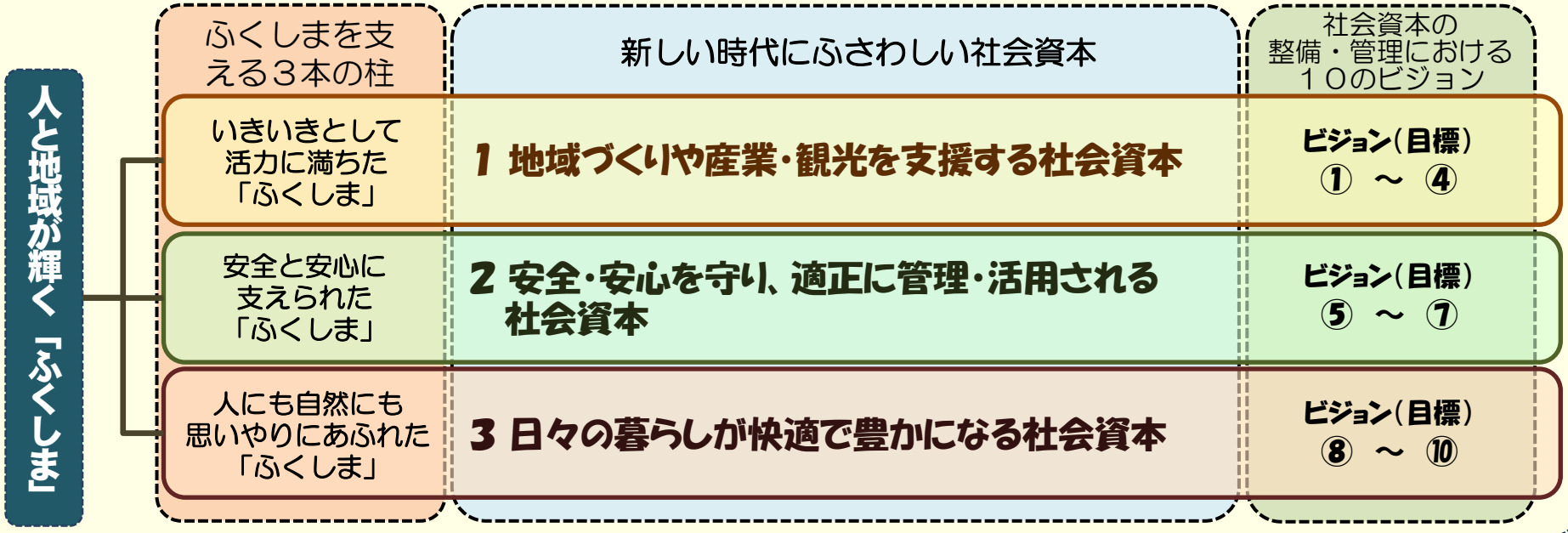
主要事業の概要について

要求方針

新たに策定された福島県総合計画「いきいき ふくしま創造プラン」に基づき、「人がほほえみ、地域が輝く “ほっとする、ふくしま”」の実現に向け、新しい時代にふさわしい社会資本の在り方として、以下の3つの視点により、各施策を重点的かつ効果的に進めます。

平成22年度
当初予算の規模
約 1,030 億円

新しい時代にふさわしい社会資本



土木部予算案の概要

主要事業の概要について

目次

1 地域づくりや産業・観光を支援する社会資本

◆ビジョン1 産業の活性化を支援します。

- ・「ふくしまを元気にする道・みなとづくり」 …3
- ・「ふくしまの低炭素社会づくりの推進」【重点プログラム】【新規】 …4
- ・「建設産業の新分野チャレンジを応援」【重点プログラム】 …5

◆ビジョン2 おもてなしの心を伝える観光を支援します。

- ・「広域連携で観光と地域の元気を回復！」 …6
- ・「「魅力いっぱい」磐梯吾妻、来て!見て!食べて!事業」【重点プログラム】 …7

◆ビジョン3 まちの賑わいづくりを支援します。

- ・「出逢い・交流する街なかの道づくり！」 …8
- ・「漁港とまちが一体となる地域づくり」 …9

◆ビジョン4 地域づくり、地域間の交流を進めます。

- ・「みんなで育もう『地域の宝』」【重点プログラム】 …10
- ・「会津広域おもてなしの道づくり」【新規】 …11
- ・「田舎に住んで民家!？」【重点プログラム】【新規】 …12

2 安全・安心を守り、適正に管理・活用される社会資本

◆ビジョン5 自然災害から命・財産を守ります。

- ・「災害は水から(自ら)守って安全・安心！」【重点プログラム】 …13
- ・「土砂災害から守るみんなの命」【重点プログラム】 …14
- ・「自然災害に強い“ふくしまの道”づくり」【重点プログラム】 …15
- ・「安全安心ふくしまの家づくりの推進」【重点プログラム】 …16

◆ビジョン6 適正な維持管理を行い、生活の安全・安心を守ります。

- ・「“いつでも、いつまでも”安全・安心な道」【重点プログラム】 …17
- ・「未来につなげる安全・安心」 …18

◆ビジョン7 積雪地域、過疎・中山間地域の暮らしを守ります。

- ・「命を守り、雪に強い道路で地域を支援」 …19
- ・「里山の暮らしを支える道づくり」【重点プログラム】【新規】 …20
- ・「チャレンジ!ふくしま『ゆい(結)の道』作戦～試瑪峠余雪～」 …21

3 日々の暮らしが快適で豊かになる社会資本

◆ビジョン8 水環境などに優しく、美しいふくしまを継承します。

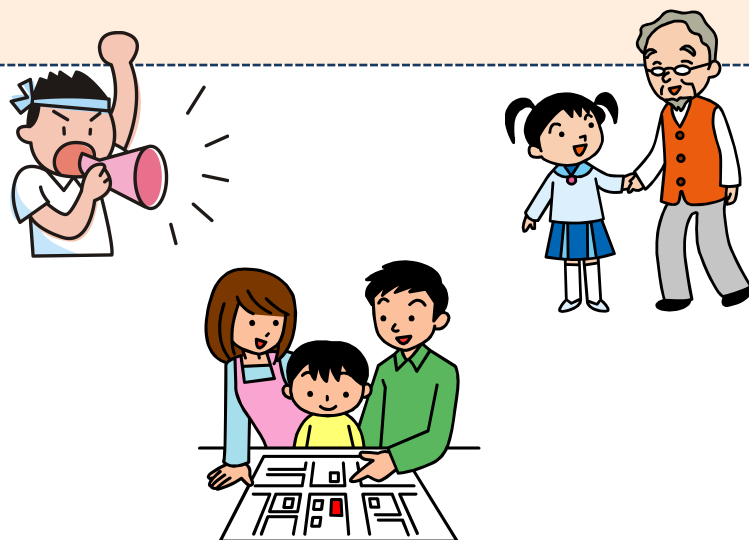
- ・「未来へつなげよう!流域連携による美しい水環境」 …22
- ・「進めよう!環境と人にやさしい『ふくしまエコ建築』」 …23
- ・「地球に優しく、美しいふくしまを支える道づくり」 …24
- ・「環境にやさしいモデル工事の推進」【重点プログラム】【新規】 …25

◆ビジョン9 地域の住み心地や快適さを向上させます。

- ・「やすらぎと潤いを与える緑豊かな都市公園」 …26
- ・「ともに考え ともに育む身近な生活基盤」 …27
- ・「進めます!“みんなにやさしい”公共建築」【重点プログラム】 …28

◆ビジョン10 みんなが元気になる生活環境を向上させます。

- ・「人にやさしく安全で快適な歩行環境づくり」【重点プログラム】 …29
- ・「子育て世帯など、みんなにやさしい住まいの提供!!」 …30





ふくしまを元気にする道・みなとづくり

～ネットワーク強化による、産業振興・交流拡大～

取組みの目的

- 7つの生活圏相互や県外との連携・交流の強化を支援します。
- 物流拠点間のネットワーク強化や地域間の連携・交流を支援します。
- 船舶による海外や国内との物流を支え産業の活性化を支援します。



【東北中央道(仮)福島JCTの状況】

取組みの内容

- 縦横6本の連携軸となる高速道路等の整備を進めます。
- 地域の幹線道路網の整備を進めます。
- みなとの整備により、船舶の大型化などに対応します。

実施予定箇所

【連携・交流を支える道路の整備(主な箇所)】

- ①常磐自動車道(常磐富岡～山元間)【東日本高速道路(株)施工】
- ②東北中央道(福島～米沢間)【国施工】 りょうぜん
- ③国道115号阿武隈東道路【国施工】・霊山道路【国施工】
- ④会津縦貫北【国施工】・縦貫南道路
- ⑤国道121号大峠(H22年度完了予定)
- ⑥国道288号富久山パハス・三春西パハス
- ⑦あぶくま高原道路(H22年度完了予定)
- ⑧国道289号荷路夫バイパス(H22年度完了予定) ほか

【物流の拠点となるみなとの整備】

- ⑨小名浜港「東港地区ほか」(いわき市)
- ⑩相馬港「3号ふ頭地区」(新地町)



実施の状況



【常磐自動車道 (仮)原町ICの状況】



【国道289号 荷路夫バイパスの状況】



【あぶくま高原道路 福島空港ICの状況】



【国際物流の拠点 小名浜港】



ふくしまの低炭素社会づくりの推進

【新規】

～地域の資源を活かした連携によるふくしま型の住まいづくりを進めます～

県の重点プログラム
を推進する事業

取組みの目的

県内の林業・住宅産業に携わる方々の連携を促進するとともに、県産木材を使用した住まいに対し補助を行い、低炭素型社会の実現と地域住宅産業の活性化を図ります。

取組みの内容

農林水産部と土木部の連携により以下の事業に取り組みます。

○緑の住宅普及支援事業（農林水産部）

県産木材住宅普及のため、建て主等にセミナー、ワークショップ、木材生産現場ツアー等を開催

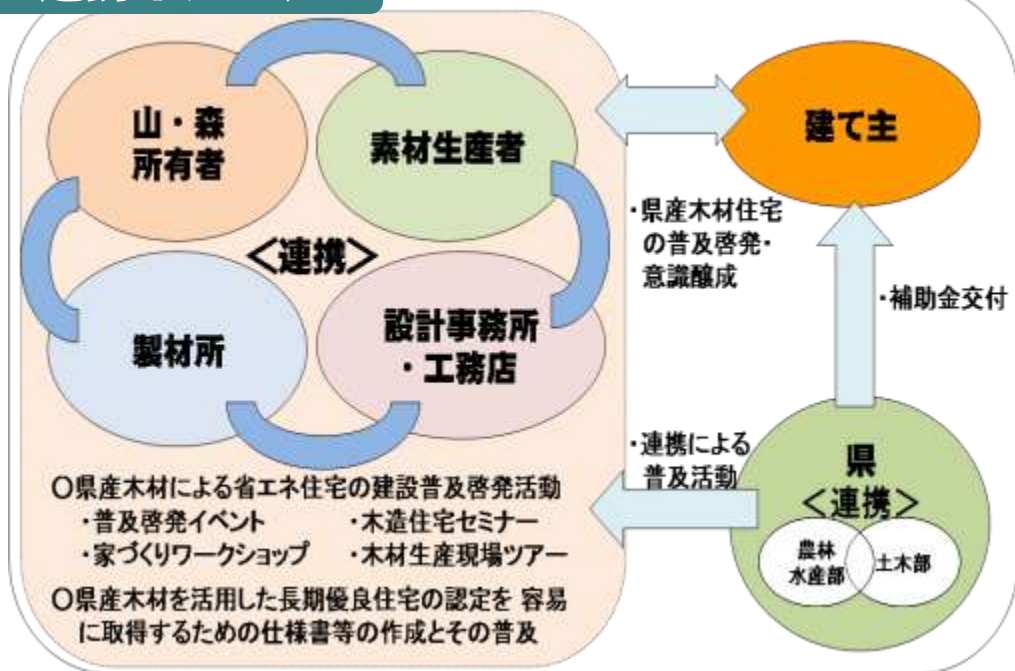
○森を木づかうふくしま住まいる事業（土木部）

- ・県内工務店等により県産木材を一定量以上使用して新築する住宅の建て主に、建設費の一部を補助します。
- ・県産木材を使用した木造住宅の建設は、地域住宅産業の活性化とCO2の削減につながることを広く周知します。

○「ふくしまの家」促進事業（土木部）

県内工務店等が長期優良住宅の認定を容易に取得できるような環境を整備

連携イメージ



県産木材加工現場見学



県産木材住宅の上棟式





建設産業の新分野チャレンジを応援

～建設産業の活力回復と魅力ある産業への転換を支援します～

県の重点プログラム
を推進する事業

取組みの目的

建設投資の大幅な減少など、県内建設業を取り巻く経営環境が厳しいものとなっているため、新分野への進出により経営基盤の強化を目指す建設業者の自主的な取組みを支援します。

実施予定箇所

○建設業者が県内各地で取り組む新分野事業を支援します。



取組みの内容

- 事前調査支援事業費補助金
新分野進出に必要な事前の調査や研究を行うための費用の一部を補助します。
- 中小企業経営革新計画事業費補助金
新分野進出に関する経営革新計画に基づき事業を実施するための費用の一部を補助します。
- 新分野進出企業認定制度
新分野進出した建設企業を認定し、入札参加資格審査等においてインセンティブを付与します。
- 新分野進出優良企業表彰
新分野進出企業認定を受けている建設企業の中で、特に優れた成果を収めている企業を表彰し、広く周知します。

実施の状況

◆◆新分野進出事例◆◆



いちごの栽培



高齢者向け賃貸住宅の経営



スポーツ施設の運営



広域連携で観光と地域の元気を回復!

～広域的な観光活性化を図り、観光産業をはじめとして、新たな雇用の確保や地場産業の振興に努めます～

取組みの目的

観光拠点や観光施設の広域的な連携のため、密接に関係する道路・河川などのハード事業のほか、観光キャンペーンの展開、環境保全などのソフト事業も積極的に展開します。

大内宿(下郷町)



滝桜(三春町)



< 広域観光拠点の例 >

取組みの内容

- 会津の歴史・文化・自然を活かした広域的な観光活性化（会津・白河地域）
- 高速道路を活かした広域的な観光活性化（相双地域）
- 「さくら回廊といで湯」を活かした広域的な観光活性化（あぶくま高原地域）
- 山と海を活かした広域的な観光活性化（いわき地域）

実施予定エリア(4地域)

《会津の歴史・文化・自然を活かした広域的な観光活性化》

白河と会津地域を結ぶ国道289号甲子道路の開通を契機に、会津地域の広域的な観光の活性化と国際性豊かな広域交流人口の拡大を図る。

【計画期間：H20～H24】

《高速道路を活かした広域的な観光活性化》

常磐自動車道の北伸を契機に、高速道路を活かした広域的な観光の活性化を図る。

【計画期間：H19～H23】

《山と海を活かした広域的な観光活性化》

いわき海浜部に連なる観光拠点群の観光入込客を山並みに連なる観光拠点群へと誘導することにより、地域内の広域的な観光の活性化を図る。

【計画期間：H20～H24】

《「さくら回廊といで湯」を活かした広域的な観光活性化》

あぶくま高原道路の全線開通を契機に、あぶくま高原地域のさくらを中心とした広域的な観光の活性化を図る。

【計画期間：H20～H24】



実施の状況

県内の代表的な観光地の広域連携を支援します。

多くの観光客が訪れる大内宿周辺の渋滞緩和を図り観光を支援



< 国道121号 小沼崎 >

滝桜と紅枝垂地蔵桜を結ぶ道路の狭い場所を拡げることで観光を支援



< 飯野三春石川線 黒木 >



“魅力いっぱい” 磐梯吾妻、来て！見て！食べて！事業

～観光有料道路を核として、磐梯吾妻地域の魅力の向上に努めます。～

県の重点プログラム
を推進する事業

取組みの目的

観光有料道路が結ぶ磐梯吾妻地域の魅力を再発見し、観光の振興を図るため、この地域の市町村、商工団体、観光団体等、関係機関が連携して実施する広報活動やイベント等を支援します。

取組みの内容

【磐梯吾妻観光推進協議会が実施する事業】

- 戦略キャンペーン事業
 - ・プレミアム特典付の観光有料道路セット券を発売し、磐梯吾妻地域への誘客や交流人口の拡大を図ります。
- 総合PR事業
 - ・ホームページでの情報提供やプレゼント応募で収集した意見を参考に効率的なPRを実施します。
 - ・写真コンテストを実施し、地域の魅力を再発見します。
- 高地トレーニング事業
 - ・健康やスポーツといった新たな視点での魅力をPRするため、ジュニア・シニア・市民ランナーを対象に高地トレーニング教室を開催します。

実施予定

- ・観光有料道路プレミアム特典付セット券の発売（4月～9月）
- ・磐梯吾妻アクティブガイド（磐梯吾妻地域PR用のリーフレット）を関東方面を中心に配布
- ・写真コンテストの実施
（募集期間：4月～11月）
- ・高地トレーニング教室の開催
（ルディックウォーク、ルイイ10km走等）
- ・そばマップを花見山等で配布



<高地トレーニング教室>

実施の状況

- ・観光有料道路プレミアム特典付セット券の発売
- ・写真コンテストの実施



<H21年度版観光有料道路セット券> <H21年度写真コンテスト最優秀作品>



取組の主体

○磐梯吾妻観光推進協議会（事務局：道路計画課、福島県道路公社）

<構成員> 市町村…福島市、北塩原村、磐梯町、猪苗代町 商工団体…福島市商工会議所 他3団体
観光団体…福島県観光物産交流協会 他8団体 環境団体…自然公園財団
有料道路関係…福島県道路公社 県機関…観光交流課、自然保護課、道路計画課



出逢い・交流する街なかの道づくり！

～街なかの道路を整備し、地域の賑わいづくりを支援します～

取組みの目的

文化、歴史、景観などの地域風土を活かしたまちづくりを実現するとともに、市街地の賑わいづくりに向けた出逢い・交流する公共空間として、街なかの道づくりを進めます。

- 喜多方市内での取組み
- ・「くらにわ」：沿道空地利用
- ・「祭り、イベント」：道路空間利用
- ・「景観協定」：まちなみ保全・形成
- ・まちなみ形成と連携した道路整備



道路を利用したイベント「喝祭きたかた」



「くらにわ」沿道空地利用



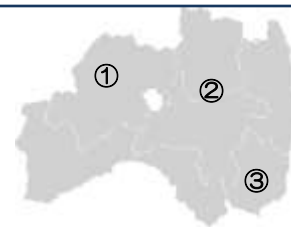
まちなかを巡る観光客

取組みの内容

- 景観協定やまちづくり計画等による地域のまちなみ形成と連携した街なかの道づくりを進めます。
- 歩いて暮らせるまちづくりを支援する街なかの道づくりを進めます。
- まちのアメニティ向上を地域と連携し進める街なかの道づくりを進めます。

実施予定箇所

- ①西小原北町線外1線（喜多方市）
- ②若宮野辺線（二本松市）
- ③平磐城線（いわき市）



実施の状況



＜西小原北町線(喜多方駅前通り)整備前＞



＜西小原北町線整備イメージ＞



＜平磐城線 整備前＞



＜平磐城線整備イメージ＞



漁港とまちが一体となる地域づくり

～みんなが楽しめる漁港をつくります～

取組みの目的

水産資源や漁船の減少により漁港の活気が失われつつあるため、漁港を活用して新たな観光拠点とするなどの地域の取組を支援し、港とまちが一体となる地域づくりを応援します。



漁港施設を活用した『道の駅』
よつくら港(H21.12月オープン)



『道の駅』オープンにより
人々が集う交流の場ができました

取組みの内容

- 漁港の多面的機能を活用し、漁港を新たな観光拠点とする地域づくりを支援します。
- 環境整備を町と一体となって実施し、漁港とまちを結ぶ交流の場となります。
- 安心して利用できる緑地や、安全な海水浴場を整備します。

実施予定箇所

【漁港の環境整備と多面的利用の支援】

- ①富岡漁港(富岡町)
(平成23年度完了予定)



実施の状況

富岡漁港『海の駅』の社会
実験を支援しています



↑
町施工
↓
県施工



富岡漁港

緑地の整備イメージ



みんなで育もう『地域の宝』

～文化や伝統、歴史、風土など地域資源を生かした地域づくり～

県の重点プログラム
を推進する事業

取組みの目的

本県の多彩な風土や観光資源、地域資源（地域の宝）を活用し、個性と魅力ある美しい地域づくりや、交流人口の拡大に結びつく施策を地域団体・住民や市町村とともに考え、地域に愛着と誇りを持ち、未来に希望が持てる地域社会の実現を目指します。

実施予定箇所

- ①羽州・奥州街道地区(桑折町・国見町)
- ②熱海地区(郡山市)
- ③南湖公園地区(白河市)
- ④宮下地区(三島町)
- ⑤喜多方中心市街地地区(喜多方市)
- ⑥伊南川周辺地区(南会津町ほか)
- ⑦あぶくまロマンチック街道(飯館村ほか)【新規】
- ⑧遠野地区(いわき市) ほか

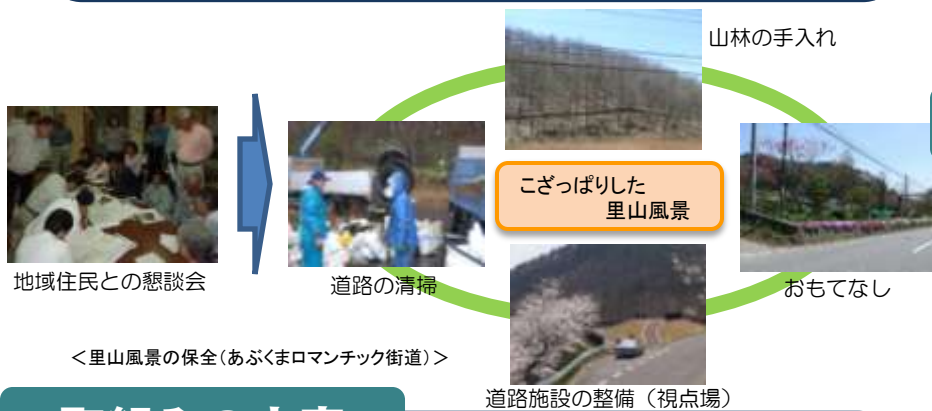


実施の状況

- 視点場づくり
- 親水空間づくり
- 遊歩道づくり
- 待避所づくり
- 交流広場づくり
- 里山風景の保全

取組みの内容

○「地域の宝」に光をあて、懇談会をとおしながら住民主体の地域づくり活動を行い、その地域に真に必要な社会資本整備（道路拡幅、歩行空間確保、交流広場整備、案内板整備など）を行います。



会津広域おもてなしの道づくり

【新規】



会津広域おもてなしの道づくりの計画をつくります。
また、街なかの自転車利用促進に向けた社会実験を実施します。～

取組みの目的

- ①会津広域の観光振興を支援し、観光交流人口の拡大を図るため、観光に係る社会資本の整備のあり方を各種団体とともに考え、事業計画を策定する。
- ②街なかで、CO₂を排出しない「自転車」の利用促進を図るため、社会実験を行い、自転車利用促進計画を策定する。

取組みの内容

- ①会津広域の「歩行空間の整備」、「視点場整備」、「広域サイン計画」、「旧街道を活用した地域づくり」についての事業計画を策定する。
- ②会津若松市を中心に、他の公共機関（鉄道等）も活用して、自転車を利用した社会実験を実施する。

取組みの効果

- ①計画により、会津広域の社会資本を効果的・効率的に整備し、会津広域の観光振興を図ることが出来る。
- ②社会実験により、自転車の利用を促進する「基盤づくり」が図れる。

実施のイメージ

会津広域おもてなしの道づくり

観光地の歩道空間の改善

効果的な道路サインの設置

防護柵の改善

視点場の整備

旧街道を活用した地域づくり

会津広域おもてなしの道づくり (広域計画策定)

連携協働

県
・各市町村
・地域団体
・地域住民
関係団体
・他部局

- ①おもてなしの道路（歩行空間・防護柵の改善）事業
- ②道路景観形成事業（視点場整備）
- ③案内板整備事業（広域サイン計画）
- ④歴史街道整備事業（旧街道を活用した地域づくり）

街なかの自転車利用 社会実験

社会実験イメージ



田舎に住んで民家！？

【新規】

～定住・二地域居住を進めるため、居住環境の向上に努めます～

県の重点プログラム
を推進する事業

取組みの目的

人口減少により空き家が増加している一方で、これらの空き家を地方に住みたいという定住・二地域居住へのニーズへ提供できない状況がみられる。そこで、県外や県内の移住希望者等に対して、魅力ある理想の住まいを探し出せる環境と安心して暮らせる居住環境の整備を、市町村や建築等関係団体などと連携して支援します。

相談対応のイメージ図

【 県外からの相談 】



相談



【 県内からの相談 】



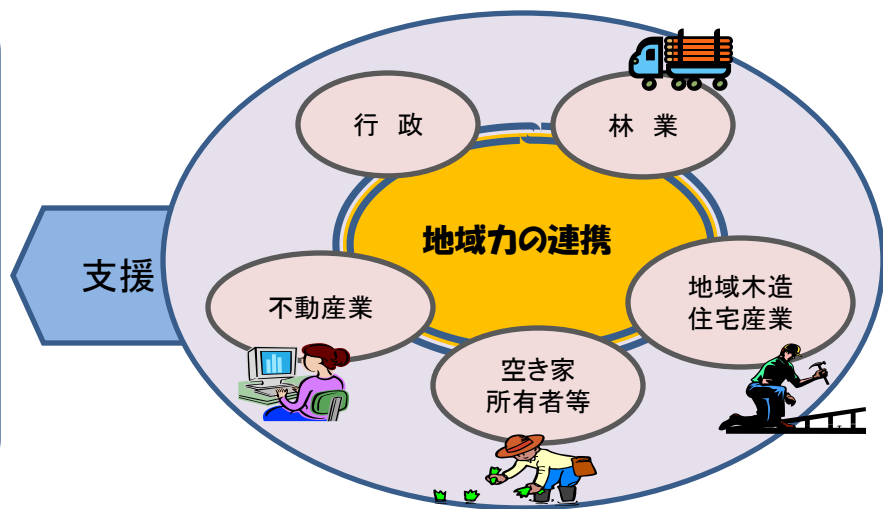
相談



(仮称) 空き家・古民家
相談センター

- ・住宅改修やその費用に関する相談
- ・不動産に関する相談や情報提供
- ・暮らし全般に関する相談や情報提供

支援





災害は水から（自ら）守って安全・安心！

～ソフト・ハードが一体となった治水対策を進め、県民の生命・財産を守ります～

県の重点プログラム
を推進する事業

取組みの目的

豪雨災害から県民の生命・財産を守るため、河川の整備や防災情報などの提供を行い、地域と連携した減災体制を構築します。

実施予定箇所

河川の整備

- ①桜川(三春町)
 - ②右支夏井川(小野町) ほか
- 洪水予報の提供
- ③宇多川(相馬市)

集中豪雨から命を守るプロジェクト事業(県内8方部)



桜川の洪水状況(平成12年8月)



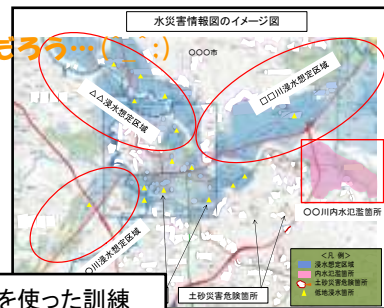
桜川とまちづくりを考えるワークショップ(平成21年)

実施の状況

いざという時、どこに逃げればよいのだろうか…(;)



水災害情報図を使った訓練



川を広げ、調節池を整備したことにより安全になりました！(;)

整備前

河川の整備(湯本川・いわき市)

整備後

取組みの内容

- 洪水による浸水被害が頻発している市街地河川を重点的に整備し、家屋などの浸水被害を解消します。
- 集中豪雨から命を守るための出前講座や、水災害情報図・洪水予報などの情報提供を行い「犠牲者ゼロ」への取り組みを進めます。



土砂災害から守るみんなの命

～ソフト・ハードが一体となった土砂災害対策を進め、県民の生命・財産を守ります～

県の重点プログラム
を推進する事業

取組みの目的

砂防えん堤等のハード対策や土砂災害警戒区域等指定のソフト対策を進め、土砂災害から県民の生命と財産を守り、安全で安心できる生活環境を確保します。



太陽の国(西郷村)
平成10年8月被災



砂防えん堤による土石流対策
平成11年7月完成

取組みの内容

- 被災箇所等、災害の危険性の高い箇所や災害時要援護者関連施設のある土砂災害危険箇所を重点的に整備します。
- 土砂災害から身体・生命を守るための警戒避難体制の支援のため、土砂災害警戒区域等の指定を進めます。

実施予定箇所

- ①土石流対策
「北原沢」(会津坂下町)
- ②急傾斜地対策
「桜町2号」(石川町)
- ③地すべり対策
「菅谷地区」(いわき市)
- ④ソフト対策
基礎調査(南会津町ほか)



実施の状況



災害時要援護者関連施設(幼稚園)

急傾斜地対策



地すべり対策

※災害時要援護者関連施設(老人福祉施設、病院、幼稚園など)への対策は、保健福祉部などと連携して進めています。



基礎調査
(土砂災害警戒区域イメージ図)



自然災害に強い“ふくしまの道”づくり

～地震や大雨など自然災害に強い道路ネットワークの整備～

県の重点プログラム
を推進する事業

取組みの目的

大規模地震や異常気象による大雨等の自然災害に備え、安全で安心して利用、通行できるよう、橋りょうの耐震補強や落石対策等を行い、交通の安全・安心を確保します。



<橋りょうの耐震補強 整備例:施工前
(国道115号:方木田跨線橋)>



<橋りょうの耐震補強 整備例:施工後
(橋を支える柱の補強)>

取組みの内容

- 地震に強い道路ネットワークを強化するため、緊急輸送路の橋りょうの耐震対策を進めます。
- 落石が発生した箇所や恐れがある箇所を整備し、危険箇所を解消します。

実施予定箇所

【橋りょう耐震対策】

- ①国道399号 「伊達橋」(伊達市)
- ②国道401号 「日吉跨線橋」(会津若松市)

【落石対策】

- ③国道115号 「菖蒲沢」(相馬市)



ほか

実施の状況

【橋りょう耐震補強：整備例】



橋を支える部分の補強を行います

大規模な地震が発生した際に、構造的に弱い部分を鉄筋コンクリートで補強することで、倒壊などの被害を防止します。

【落石対策：整備例】



【落石防護柵工】



安全安心ふくしまの家づくりの推進

～地震などの災害に強い住宅づくりを支援します～

県の重点プログラム
を推進する事業

取組みの目的

安全で安心して暮らせる地域社会を形成するため、生活の基礎となる住宅の安全安心を確保し、より良質な住宅のストック形成を推進します。

取組みの内容

- 耐震化普及啓発技術者派遣事業
耐震に関する普及啓発のため、市町村で実施する地区説明会等へ専門技術者を派遣します。
- 木造住宅耐震改修講習会
住宅の耐震改修に関する技術力向上のため建築士等に対する講習会を開催します。
- 安全安心耐震促進事業
緊急輸送道路に面する地区や倒壊のおそれがある住宅の密集する地区、市町村耐震改修促進計画で定める重点地区等で木造住宅耐震診断を実施する市町村を支援します。

実施の状況

県民への普及啓発
＜地区での専門家による説明会を開催＞



技術力向上
＜建築士等への講習会開催＞



＜木造住宅耐震診断の実施＞



＜耐震改修事例：筋交い補強例＞





“いつでも、いつまでも” 安全・安心な道

～戦略性を持ち、計画的な維持管理による安全・安心な道づくり～

県の重点プログラム
を推進する事業

取組みの目的

これまで以上に戦略性を持ち、計画的な維持管理に努め、道路利用者の安全・安心の確保を図るとともに快適で住みやすい地域づくりを支援します。

【橋梁の長寿命化対策】



【ふくしまの道フレッシュアップ作戦】



<計画的な橋梁補修により長寿命化を図る> <補修時等に地域の意見を聞きながら橋梁の防護柵などを塗り替えて景観の向上を図る>

取組みの内容

- 計画的な橋梁の長寿命化対策を進めます。
- きめ細やかな道路パトロールを実施します。
- 地域の方々と市町村、県の三者が協働して、道路の清掃、美化活動を行います。
- 路肩を広げる工夫により、安全を確保します。
- 景観向上を図るフレッシュアップ作戦など、テーマ性をもって戦略的な維持管理を行います。

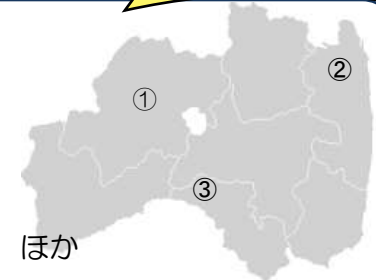
実施予定箇所

【橋梁の長寿命化対策】

- ①国道252号「柳津橋」(柳津町)
- ②国道115号「櫻橋」(相馬市)

【路肩拡幅モデル事業】

- ③国道289号「真船地区」(西郷村) ほか



【戦略性とは・・・】

○単なる現状回復ではなく、○テーマ性を持ち、○ソフト・ハード一体となり、
○人と地域とともに、○使い勝手や質・機能の向上を図る。 など

実施の状況

【道路パトロール】



<パトロールで発見した損傷箇所を応急処置>

【うつくしまの道・サポート事業】



<地域の方々による清掃活動の状況>

【少しの工夫で“ほっ”と安心!
路肩拡幅モデル事業】



<国道289号(西郷村)>

<路肩がせまく走りづらい道路>



<側溝の位置を工夫して路肩を広げた状況>



未来につなげる安全・安心

～河川・海岸・ダム・砂防・港の施設を適正に維持管理し、生活の安全・安心を守ります～

取組みの目的

適正な維持管理により、管理施設の機能を充分発揮させ、洪水・高波・土砂崩れなどによる災害の発生を未然に防止します。

また、管理施設を有効に活用し維持するため、予防保全を重視した計画的な維持管理を行います。



土砂の堆積状況



土砂を掘削し安全を確保

取組みの内容

○河川に堆積した土砂の掘削や、海岸堤防などの維持補修を行い、生活の安全・安心を守ります。

○港湾や漁港、空港施設などの有効活用と維持管理費用の平準化を図るため、長寿命化計画を策定して計画的な維持管理を行います。

実施予定箇所

- ①河川 : 491河川、延長4,641.9km、ダム10基
- ②海岸 : 91地区海岸、延長146.6km
- ③砂防 : 砂防関係指定地 1, 979箇所
- ③港湾・漁港 : 港湾7箇所、漁港10箇所
- ④空港 : 福島空港（玉川村）

実施の状況

◇海岸堤防の老朽化状況◇



◆豊間海岸(いわき市)



堤防のひび割れ

拡大

◇港湾荷役機械の管理◇



◆小名浜港(いわき市)

◇滑走路の点検◇



◆福島空港(玉川村)



命を守り、雪に強い道路で 地域を支援

～積雪地域、過疎・中山間地域の道づくり～

取組みの目的

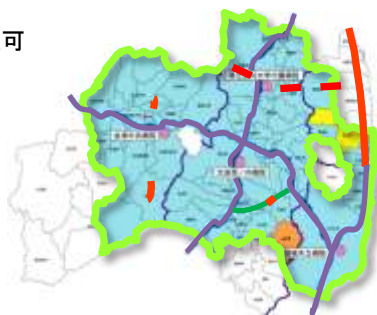
- 救急医療・地域医療を支援します。
- 雪国の日常生活を守ります。
- バス路線が少ない過疎・中山間地域の交通確保を支援します。

実施予定箇所

- ①いわき石川線「^{さらがい}皿貝地区」(いわき市)
- ②国道352号「中山峠」(南会津町)
- ③あぶくま道都路線「^{わせがわ}早稲川」(田村市) ほか



.....道路整備により60分以内で到達可能にすることができる最大限の範囲 (9,914km²)



- 救命救急センターへ60分以内で到達できる範囲
- : 平成20年度末
 - : 平成26年度末までに新たに含まれる範囲
 - : 平成31年度末までに新たに含まれる範囲

取組みの内容

- 救命救急センターへ60分以内で到達できる地域を広げるため、高規格道路などを整備します。ドクターヘリの活動を支援するため、アクセス道路の整備、離着陸場整備の検討を進めます。
- 雪道の安全向上を図るため雪崩防止柵や防雪柵を整備します。
- 市町村と連携し、過疎・中山間地域の地域交通確保の計画づくりに取り組みます。

実施の状況



<喜多方市熱塩の雪崩を防止する整備事例(国道121号)>



<すれ違いがし易いよう待避所の整備事例(旅人勿来線)>



里山の暮らしを支える道づくり

【新規】

～過疎・中山間地域における地域交通確保事業～

県の重点プログラム
を推進する事業

取組みの目的

路線バスの衰退により、交通弱者の移動する権利が損なわれている過疎・中山間地域等において、通院をはじめとした日常生活を支援します。

取組みの内容

アンケート等により、住民の移動実態を把握し、関係機関と連携しながら、通勤・通学・買物・通院・出荷など様々な生活・産業活動の支援策を検討します。

支援策のイメージ

① 暮らしの支援(コミュニティバス等の導入)

- ・日常生活に必要な生活交通(生活の足)の維持・確保等
- ・大型バスのすれ違いが可能となる待避所等の整備による安全な通行の確保等



待避所整備前



待避所整備後

② 救急医療の支援

- (1) 普通車がすれ違いできる道路整備等により、救急医療機関への搬送の速達性の確保、ドクターヘリ離着陸場までのアクセス性の向上等
- (2) 道路の改良等により生じた道路敷などを活用したドクターヘリ離着陸場の整備の可能性調査

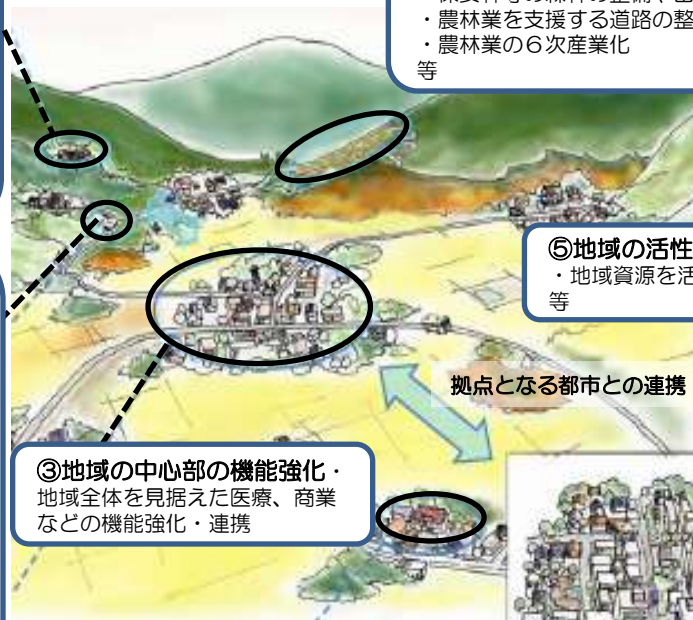
(過疎・中山間地域における緊急搬送の例)



(1) すれ違い可能な道路の整備



(2) 離着陸場の整備検討



⑥ 農村・棚田の維持、森林・自然環境の保全

- ・農業の担い手・後継者の育成・確保
- ・保安林等の森林の整備や山地災害対策の実施
- ・農林業を支援する道路の整備
- ・農林業の6次産業化等

⑤ 地域の活性化

- ・地域資源を活かした産業の活性化等

③ 地域の中心部の機能強化・地域全体を見据えた医療、商業などの機能強化・連携

都市部

- ・医療施設
- ・商業施設
- ・学校施設等の都市施設等の集積

拠点となる都市との連携

④ 地域間交流の促進

- ・物販所、道の駅など交流拠点等での人、物、情報等の交流・連携
- ・地域資源を活かしたグリーンツーリズムの推進



チャレンジ!ふくしま「ゆい（結）の道」作戦～試験除雪～

～冬期間の地域活動や交流を支える道づくり～

取組みの目的

豪雪地帯の会津地方の中山間地域にある冬期交通不能区間において、経済活動や地域間交流、日常生活を支援するため、通行止めの解消や期間短縮などを図ります。

標識が隠れるくらい雪が積もるんだね。



至 会津美里町

<試験除雪の取り組み状況(国道401号)>

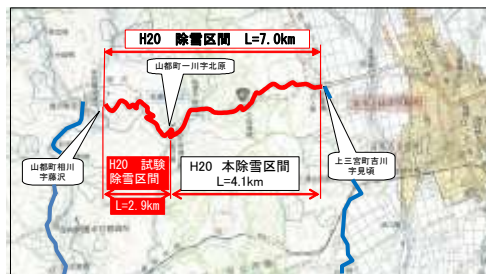
取組みの内容

- 地域生活に密着した道路で冬期交通不能となる区間のうち、雪崩対策が完了するなど、条件が整った区間について試験除雪を行い、安全が確認できれば通常除雪に移行します。
- 防雪対策を進め、除雪開始時期を早めるなど通行止め期間の短縮を図ります。

実施予定箇所

- 【通年通行の確保を図ります】
 - ①国道459号「見頃峠」(喜多方市)
 - ②小林館の川線「小川」(只見町)
- 【通行止めの期間短縮を図ります】
 - ③国道252号「六十里越」(只見町)
 - ④国道401号「博士峠」(会津美里町・昭和村)

実施の状況 国道459号「見頃峠」



■道路利用者からの声

～女性(40代)～
 喜多方市中心部へ通勤のため、利用している。
 国道を通ると30分短縮できる。
 凍結していて危険な箇所は有るが注意して通行すれば問題はない。
 特に、今年は広く除雪をしてらったので良かった。
 冬期間に国道が通行できないと困ってしまう。

(A)通常ルート(赤色)

- 所要時間:17分(延長7.0km)
- 喜多方市山都町相川～喜多方市上三宮町～喜多方市中心部

(B)迂回ルート ※17分間の増

- 所要時間:35分(延長18.0km)
- 喜多方市山都町相川～(県道)喜多方西会津線～(県道)熱塩加納会津坂下線～喜多方市上三宮町～喜多方市中心部

※喜多方市は平成18年1月4日に、山都町ほか3町村と合併しました。

未来へつなげよう！流域連携による美しい水環境

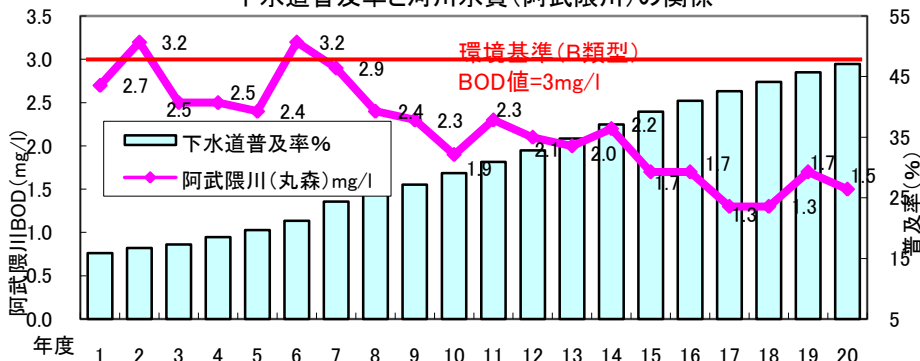
～下水道の整備を進め良好な水環境を未来に継承～



取組みの目的

総合的汚水処理構想である「福島県全県域下水道化構想」に基づき、社会生活において排出される様々な汚水をきれいな水として自然に戻すことにより、公共用水域の水質を保全し、健全な水環境を創出します。

下水道普及率と河川水質(阿武隈川)の関係



取組みの内容

- 流域下水道事業
2以上の市町村の区域における下水を排除する事業で県が行う事業
- 市町村下水道事業費補助
県内の財政力指数が1.0以下の市町村が行う公共下水道事業に対して、事業費の1～3%の補助を行う。(福島市他30市町村)

実施予定箇所

【流域下水道事業】

- ①阿武隈川上流流域下水道(県北処理区)
- ②阿武隈川上流流域下水道(県中処理区)
- ③阿武隈川あだたら流域下水道(二本松処理区)
- ④大滝根川流域下水道(田村処理区)
- ⑤金山町

【市町村下水道整備代行事業】

- ⑤金山町



実施の状況

不要となった浄化槽の雨水タンクへの転用、雨水浸透柵の設置、雨水貯留タンクの設置の費用を一部補助(いわき市)



下水処理場: 県中浄化センター



下水道出前講座
(流域下水道建設事務所)



進めよう！環境と人にやさしい「ふくしまエコ建築」

～環境保全に配慮した建物づくりを推進します～

取組みの目的

豊かな自然、風景、文化、環境を守り育てるため、これらに配慮した住宅、建築づくりに努めるとともに、省エネなど自然と共生する環境負荷の少ない建築を整備します。

取組みの内容

- 「福島県環境共生建築計画・設計指針」に基づいて、環境負荷の少ない県有建築物を整備します。
- 既存の県有建築物については、「環境性能診断」を行い、「運用改善」と「改修工事」の両面から、施設管理者に提案し、**二酸化炭素（CO2）排出量の削減**を促進します。
- 「ふくしまエコ建築」の実現のため、「福島県環境共生建築計画・設計指針」の活用を市町村や民間等に普及します。

実施予定箇所等

- 「環境性能診断」は、庁舎・学校等、全体で148施設を計画的に診断することとしており、約半数が完了しています。平成22年度は、庁舎11施設、学校3施設の計14施設について実施する予定です。
- 「ふくしまエコ建築」の普及促進のため、各市町村が実施する診断の支援や、民間等に対する講習会等を行います。

実施の状況

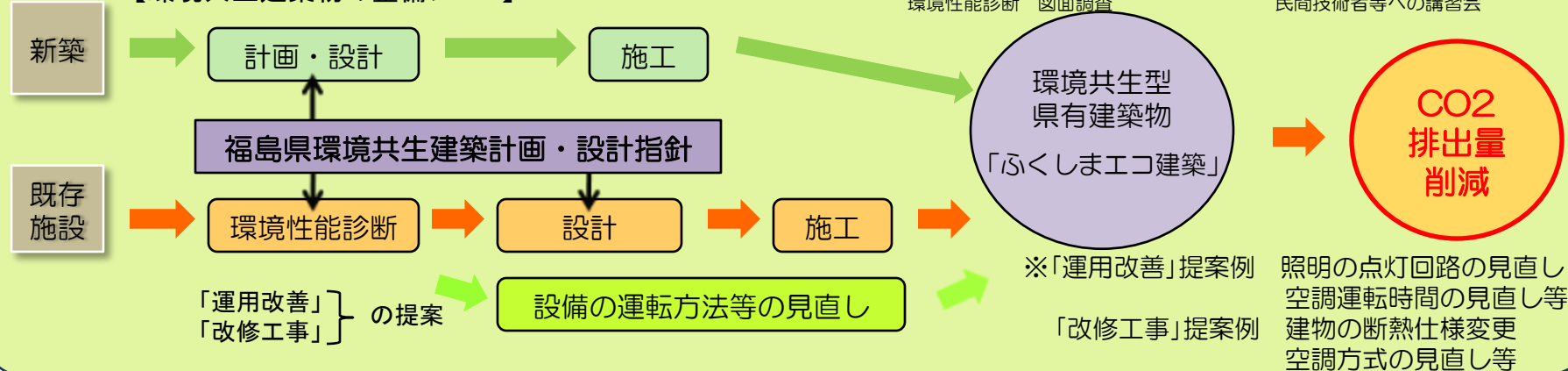


環境性能診断 図面調査



民間技術者等への講習会

【環境共生建築物の整備フロー】



地球に優しく、美しいふくしまを支える道づくり

～多様な資源を有効に利用したエネルギー生産や新技術導入によるCO₂削減～



取組みの目的

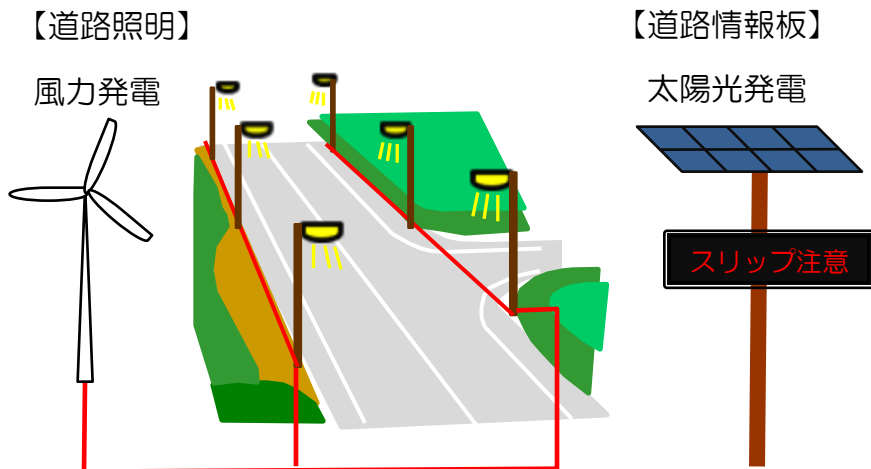
- 道路施設の維持管理用電力等に自然エネルギーを活用し、CO₂の削減に取り組みます。
- 既設道路施設についても、新技術を導入し、道路施設の維持管理に必要な電力消費を抑えるなど、CO₂の削減に取り組みます。

取組みの内容

- 太陽光・風力等の自然エネルギーを電力に変え道路施設の維持管理用電力等への利用を検討する。
- 既設道路照明について施設更新の際にLED照明など従来の照明に比べ消費電力の少ない新技術の導入を検討する。
- 道路の新設に際しても、省電力タイプの機器の設置を検討する。

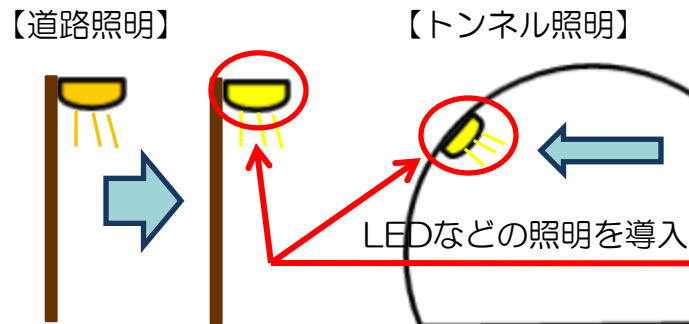
実施のイメージ図

○自然エネルギーによる管理用電力発電のイメージ図



○既設道路照明の新技術導入のイメージ図

電力消費量を抑えCO₂の削減を図ります。





環境にやさしいモデル工事の推進

【新規】

～地球にやさしい公共事業をめざします～

県の重点プログラム
を推進する事業

取組みの目的

○「省エネルギー」「省資源」「リサイクル」「生態系保全」の4つに配慮した環境資材の使用拡大を図ることで、環境への負荷の少ない低炭素・循環型社会の形成を推進する。

4つのキーワード

省エネルギー
(CO2の削減)

生態系保全
(地球にやさしい)

省資源
(材料の有効利用)

リサイクル
(廃棄物の再資化)

- 省エネルギー・省資源
→ 地球温暖化防止対策
- リサイクル
→ 循環型社会の構築
- 生態系保全
→ 生態系に配慮した製品

取組みの内容

○「省エネルギー」「省資源」「リサイクル」「生態系保全」の4つをキーワードとした建築資材を使用するモデル工事を各出先機関で選定し、その工事請負費の一部を助成することで、環境資材の使用機会の拡大と認識を高める。

製品の事例

○建設副産物・間伐材を有効活用した以下の4つのキーワードに繋がる製品

【1 省エネルギー】

Co2削減に寄与する製品

【2 省資源】

廃棄物にせずに再利用する製品

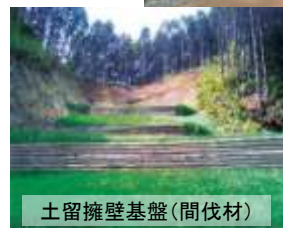
屋上緑化もみからマット(ヒートアイランド防止)



木質チップ舗装



保水性ブロック(ヒートアイランド防止)



土留擁壁基盤(間伐材)

【3 リサイクル】

うつくしま、エコ・リサイクル製品

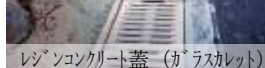
【4 生態系保全】

生態系に配慮した製品

透水性平板(銅スラグ)



魚巢ブロック



レジコンクリート蓋(ガラスカレット)



間伐材スロープ側溝



やすらぎと潤いを与える緑豊かな都市公園

～まちなかの緑を創出、自然と親しみ、ふれ合える公園へ～

取組みの目的

超高齢化社会の到来や自然志向、健康志向など、レクリエーション需要の変化や社会を取り巻く環境の変化などから、時代のニーズに対応した都市公園を整備するとともに、都市公園の魅力である自然や歴史、文化などの資源を活かしながら、緑豊かなまちづくりを推進します。



<あづまの郷ウォーク／②>



<いわき公園の大型遊具／④>

取組みの内容

- 早期全面供用を目指して、東ヶ丘公園の整備を促進します。
- 老朽化した公園施設のリニューアルを進めます。
- 福島空港公園の基本計画の見直しを実施します。
- 地域の交流や活性化に繋がるさまざまなイベントを行い、都市公園の利用を促進します。

実施予定箇所

【整備中の都市公園】

- ①東ヶ丘公園（南相馬市）「用地取得、園路整備」
- 【老朽施設のリニューアルを進める都市公園】

- ②あづま総合運動公園（福島市）
「老朽化したテニスコートのリニューアル」
- ③逢瀬公園（郡山市）「トイレのバリアフリー化」
- ④いわき公園（いわき市）「老朽化した木製遊具のリニューアル」

【計画見直しを進める都市公園】

- ⑤福島空港公園（須賀川市・玉川村）「基本計画の見直し、環境調査」



実施の状況



<園路整備／①>



<トイレのバリアフリー化／③>



コート表面の剥がれ

<テニスコートのリニューアル／②>



使用禁止中

<木製遊具のリニューアル／④>



ともに考え ともに育む身近な生活基盤

～社会資本の適正な管理によるサービスの向上～

取組みの目的

皆さんの生活に密着した身近な生活基盤を、迅速・的確に整備・改善し、安全性や利便性、快適性の一層の向上を図ります。



整備前

至小野



歩道を改善

至小野

県道小野郡山線 (郡山市)



整備前

至米沢



排水路を改善

至米沢

国道121号 (喜多方市)

取組みの内容

- 通学時に危険が伴う歩道を改善します。
- 大雨の時に問題となる排水路を改善します。
- 狭い道路のすれ違いできない箇所を解消します。
- 道路脇の危険箇所に柵をつけて転落を防ぎます。
- 河川の堤防を改善して大雨に備えます。

実施予定箇所

○県民の皆さんとともに、県内各地で実施します。



地元の花植え



現地立会状況



住民説明

実施の状況



側溝に蓋をかけて安全になった道路脇。

県道 福島吾妻裏磐梯線 (福島市)



整備前

地元の懇談会の様子



道路のすれ違いできない箇所を解消。

県道 原町二本松線 (飯舘村)



整備前

地元の草刈の様子



進めます！“みんなにやさしい”公共建築

～すべての人が安全に安心して利用できるよう、県有建築物の改修を進めます～

県の重点プログラム
を推進する事業

取組みの目的

県有建築物について、ユニバーサルデザインの考え方にに基づき、高齢者や障がい者を含むすべての人々が安全に安心して利用できるよう、改修等を進めます。

取組みの内容

施設利用者等のニーズを的確に捉えながら、「人にやさしいまちづくり条例」の整備基準に沿った改修等を行います。

○段差の解消、手すりの設置、点字ブロックの敷設、出入口幅員の確保、扉の改修、エレベーターの設置などを行います。

○誰もが使いやすい「みんなのトイレ」や授乳室などを整備します。

実施予定箇所

- ①本宮警察署
- ②須賀川警察署
- ③三春警察署
- ④喜多方警察署
- ⑤いわき東警察署（設計のみ）

※対象全80棟のうちH22年度末で76棟が完了予定



実施の状況



みんなのトイレを設置



手すり・スロープで段差を解消



デザイン改善に向けた利用者の皆さんによるワークショップ



エレベーターを設置

会津若松合同庁舎の例



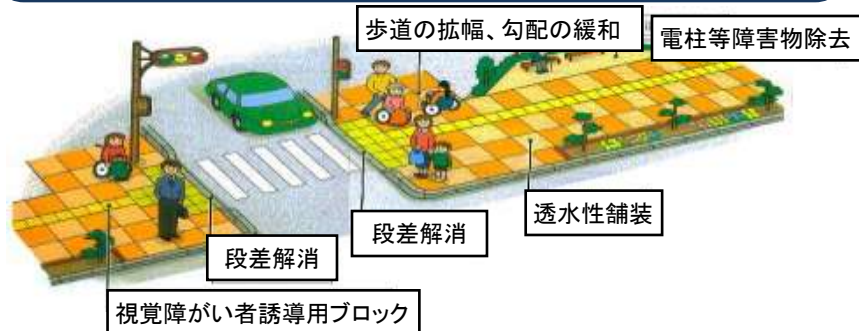
人にやさしく安全で快適な歩行環境づくり

～全ての人が安心して通れる歩行空間の創出～

県の重点プログラム
を推進する事業

取組みの目的

ユニバーサルデザインに配慮し、車いす利用者や高齢者、障がい者など全ての人が自由に移動でき、安心して生活ができる「思いやり」のある社会の実現を支援します。



取組みの内容

- 地域の方々との現地調査や意見交換などを実施し、適確なニーズ把握に努めます。
- 安全で使いやすい歩道の整備を推進します。
- 既存歩道の段差解消や勾配の緩和のほか歩道を広げるなど安全で歩きやすい歩行空間を整備します。
- 側溝の蓋掛けや幅広路肩など地域の実情に応じた歩行者の安全確保に努めます。

実施予定箇所

- ①福島飯坂線
「平野工区」(福島市)
- ②国道400号
「阿久戸工区」(昭和村)
あくと おはまあざまちせん
- ③小浜字町線
「旭町工区」(南相馬市) ほか



実施の状況

福島飯坂線(平野工区)「段差解消・勾配の緩和・滑りにくく靴のかかところが落ち込まない側溝蓋の採用・防護柵の更新」



会津柳津停車場線(一王町工区)「段差解消・車道を狭め安全な歩行空間を確保」





子育て世帯など、みんなにやさしい 住まいの提供！！

～ 子育て世帯や高齢者等に配慮した住まいづくりを支援します ～

取組みの目的

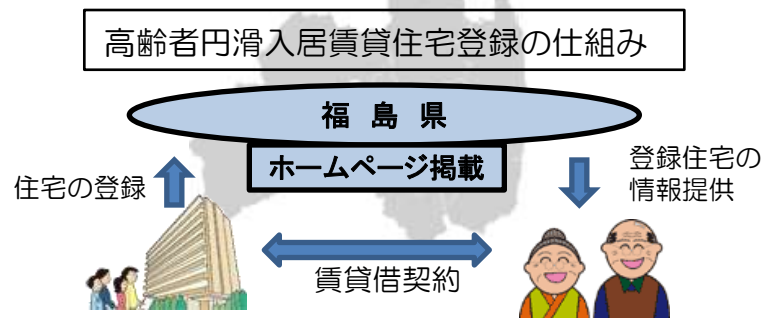
子育てしやすく、高齢者や心身障がい者、多子世帯などが安心して暮らせる居住環境づくりに努めます。

取組みの内容

- 1 民間住宅について
 - 高齢者が円滑に入居できる民間賃貸住宅の登録の増加に努めます。
- 2 県営住宅について
 - 子育て世帯や高齢者等の優先入居を行います。
 - 子育てしやすい比較的大きな床面積への改善等を進めます。
 - 団地内の良好なコミュニティの醸成を図ります。
- 3 福祉部局等と連携し、高齢者の安全で安心な住生活の実現に努めます。

取組みの具体例

- 1 民間住宅
 - ①高齢者世帯の入居を拒まない住宅登録制度のPR



- 2 県営住宅
 - ① 優先入居住戸の確保ときめ細やかな窓口対応
 - ② 3戸を2戸に改善することによる1戸当たりの床面積の増加
 - ・蓬莱団地（福島市）
 - ・梅ヶ丘団地（いわき市）
 - ③ ・高齢者の独り暮らし等の住戸の巡回
 - ・世代間交流等を図るための懇談会の開催（モデル地区：会津・喜多方、いわき地区）
- 3 部局間連携
 - ① 福祉部局等との連携による高齢者の多様な住まい方の検討



土木部の重点プログラム推進のための事業概要

目次

資料2に掲げた施策を重点プログラム推進のための事業としてまとめたものです。

ふくしまの特性を生かした産業の総合力発揮プログラム

- ・「建設産業の新分野チャレンジを応援」 ……2
(意欲ある建設業チャレンジ支援事業)

地域活性化を導くふくしまの低炭素社会づくりプログラム

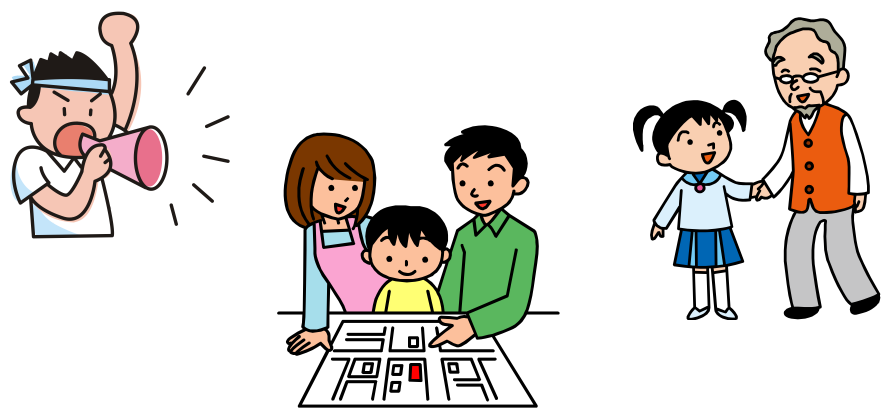
- ・「ふくしまの低炭素社会づくりの推進」 【新規】 ……3
(ふくしまの低炭素社会づくり推進事業(森を木づかうふくしま住まいる事業) 外)
- ・「環境にやさしいモデル工事の推進」 【新規】 ……4
(環境にやさしいモデル工事)

ふくしまのにぎわい創出プログラム

- ・「里山の暮らしを支える道づくり」 【新規】 ……5
(過疎・中山間地域における地域交通確保事業)
- ・「みんなで育もう『地域の宝』」 ……6
(元気ふくしま、地域づくり・交流促進事業)
- ・「田舎に住んで民家!？」 【新規】 ……7
(田舎に住んで民家促進事業)
- ・「“魅力いっぱい” 磐梯吾妻、来て!見て!食べて!事業」 ……8
(“魅力いっぱい” 磐梯AZUMA、来て!見て!食べて!事業)

健康で生きがいに満ち、安全で安心なふくしまづくり推進プログラム

- ・「人にやさしく安全で快適な歩行環境づくり」 ……9
(やさしい道づくり推進事業)
- ・「進めます!“みんなにやさしい”公共建築」 ……10
(共生のまち推進事業)
- ・「緊急橋りょう改修事業 外」 ……11
(緊急橋りょう改修費、橋りょう補修費(補助) 外)
- ・「災害は水から(自ら)守って安全・安心!」 ……12
(集中豪雨から命を守るプロジェクト事業)
- ・「安全安心ふくしまの家づくりの推進」 ……13
(住宅安全ストック形成事業)
- ・「土砂災害から守るみんなの命」 ……14
(土砂災害から災害時要援護者関連施設を守る砂防事業)





建設産業の新分野チャレンジを応援

～建設産業の活力回復と魅力ある産業への転換を支援します～

県の重点プログラム
を推進する事業

取組みの目的

建設投資の大幅な減少など、県内建設業を取り巻く経営環境が厳しいものとなっているため、新分野への進出により経営基盤の強化を目指す建設業者の自主的な取組みを支援します。

取組みの内容

- 事前調査支援事業費補助金
新分野進出に必要な事前の調査や研究を行うための費用の一部を補助します。
- 中小企業経営革新計画事業費補助金
新分野進出に関する経営革新計画に基づき事業を実施するための費用の一部を補助します。
- 新分野進出企業認定制度
新分野進出した建設企業を認定し、入札参加資格審査等においてインセンティブを付与します。
- 新分野進出優良企業表彰
新分野進出企業認定を受けている建設企業の中で、特に優れた成果を収めている企業を表彰し、広く周知します。

実施予定箇所

○建設業者が県内各地で取り組む新分野事業を支援します。



実施の状況

◆◆新分野進出事例◆◆



いちごの栽培



高齢者向け賃貸住宅の経営



スポーツ施設の運営



ふくしまの低炭素社会づくりの推進

【新規】

～地域の資源を活かした連携によるふくしま型の住まいづくりを進めます～

県の重点プログラム
を推進する事業

取組みの目的

県内の林業・住宅産業に携わる方々の連携を促進するとともに、県産木材を使用した住まいに対し補助を行い、低炭素型社会の実現と地域住宅産業の活性化を図ります。

取組みの内容

農林水産部と土木部の連携により以下の事業に取り組みます。

○緑の住宅普及支援事業（農林水産部）

県産木材住宅普及のため、建て主等にセミナー、ワークショップ、木材生産現場ツアー等を開催

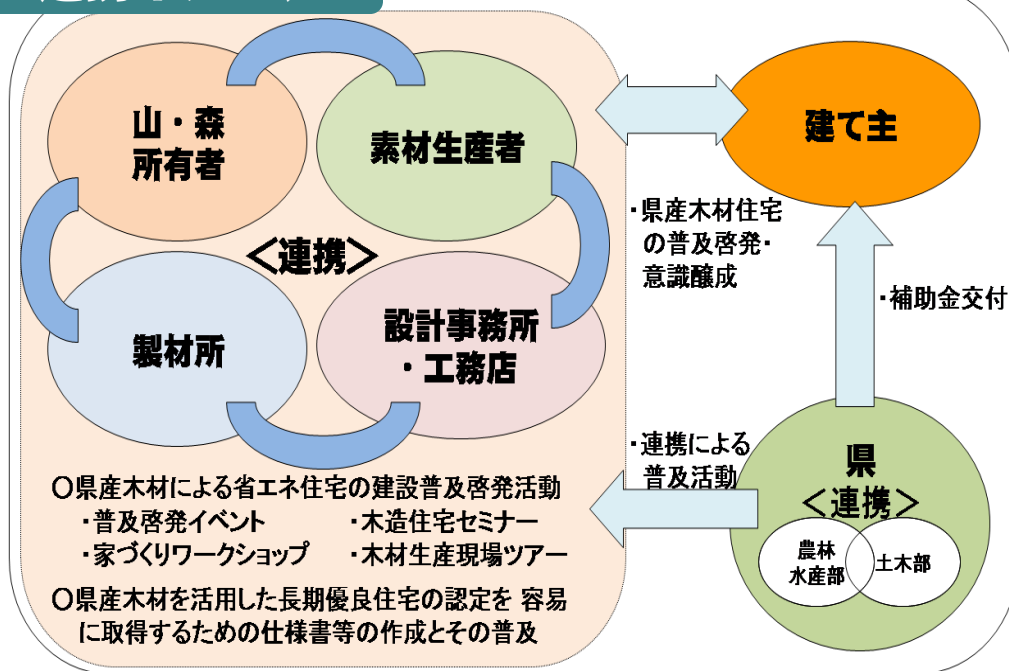
○森を木づかうふくしま住まいる事業（土木部）

- ・県内工務店等により県産木材を一定量以上使用して新築する住宅の建て主に、建設費の一部を補助します。
- ・県産木材を使用した木造住宅の建設は、地域住宅産業の活性化とCO2の削減につながることを広く周知します。

○「ふくしまの家」促進事業（土木部）

県内工務店等が長期優良住宅の認定を容易に取得できるような環境を整備

連携イメージ



県産木材加工現場見学



県産木材住宅の上棟式





環境にやさしいモデル工事の推進

【新規】

～地球にやさしい公共事業をめざします～

県の重点プログラム
を推進する事業

取組みの目的

○「省エネルギー」「省資源」「リサイクル」「生態系保全」の4つに配慮した環境資材の使用拡大を図ることで、環境への負荷の少ない低炭素・循環型社会の形成を推進する。

4つのキーワード

省エネルギー
(CO2の削減)

生態系保全
(地球にやさしい)

省資源
(材料の有効利用)

リサイクル
(廃棄物の再資化)

- 省エネルギー・省資源
→ 地球温暖化防止対策
- リサイクル
→ 循環型社会の構築
- 生態系保全
→ 生態系に配慮した製品

取組みの内容

○「省エネルギー」「省資源」「リサイクル」「生態系保全」の4つをキーワードとした建築資材を使用するモデル工事を各出先機関で選定し、その工事請負費の一部を助成することで、環境資材の使用機会の拡大と認識を高める。

製品の事例

○建設副産物・間伐材を有効活用した以下の4つのキーワードに繋がる製品

【1 省エネルギー】

Co2削減に寄与する製品

【2 省資源】

廃棄物にせずに再利用する製品

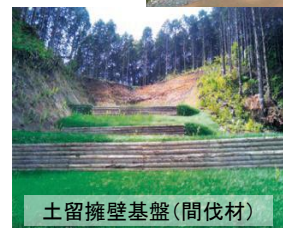
屋上緑化もみからマット(ヒートアイランド防止)



木質チップ舗装



保水性ブロック(ヒートアイランド防止)



土留擁壁基盤(間伐材)

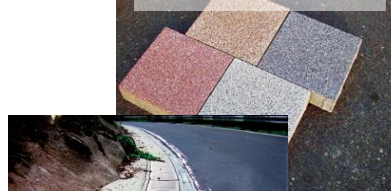
【3 リサイクル】

うつくしま、エコ・リサイクル製品

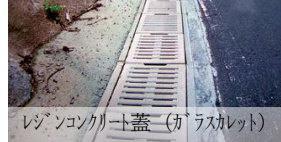
【4 生態系保全】

生態系に配慮した製品

透水性平板(銅スラグ)



魚巢ブロック



レジコンクリート蓋(ガラスカレット)



間伐材スロップ側溝



里山の暮らしを支える道づくり

【新規】

～過疎・中山間地域における地域交通確保事業～

県の重点プログラム
を推進する事業

取組みの目的

路線バスの衰退により、交通弱者の移動する権利が損なわれている過疎・中山間地域等において、通院をはじめとした日常生活を支援します。

取組みの内容

アンケート等により、住民の移動実態を把握し、関係機関と連携しながら、通勤・通学・買物・通院・出荷など様々な生活・産業活動の支援策を検討します。

支援策のイメージ

①くらしの支援(コミュニティバス等の導入)

- ・日常生活に必要な生活交通(生活の足)の維持・確保等
- ・大型バスのすれ違いが可能となる待避所等の整備による安全な通行の確保等



待避所整備前



待避所整備後

②救急医療の支援

- (1) 普通車がすれ違える道路整備等により、救急医療機関への搬送の速達性の確保、ドクターヘリ離着陸場までのアクセス性の向上等
- (2) 道路の改良等により生じた道路敷などを活用したドクターヘリ離着陸場の整備の可能性調査

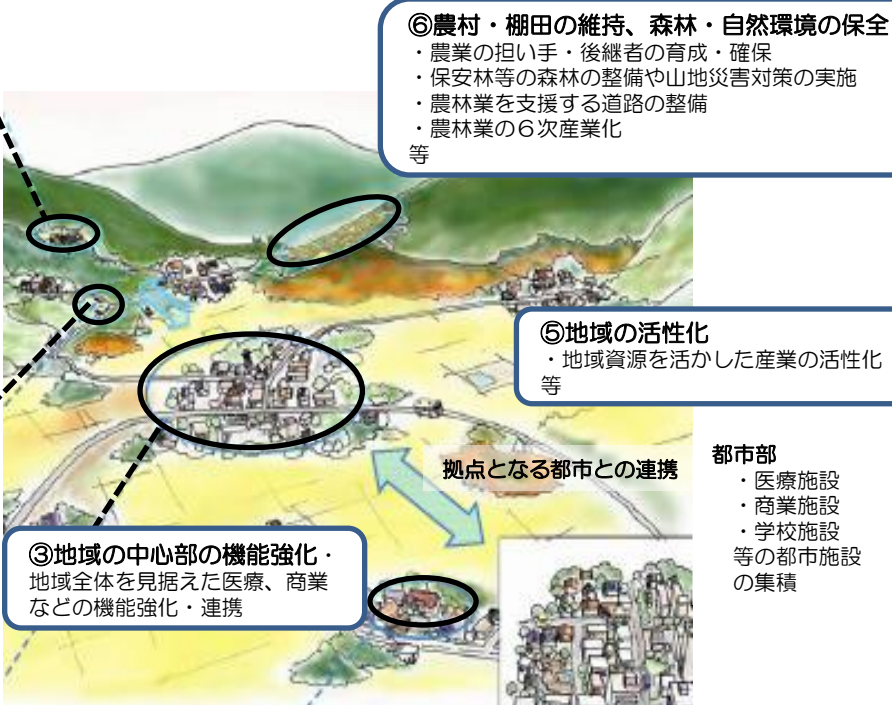
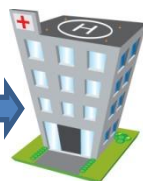
(過疎・中山間地域における緊急搬送の例)



(1)すれ違い可能な道路の整備



(2)離着陸場の整備検討



⑥農村・棚田の維持、森林・自然環境の保全

- ・農業の担い手・後継者の育成・確保
- ・保安林等の森林の整備や山地災害対策の実施
- ・農林業を支援する道路の整備
- ・農林業の6次産業化等

⑤地域の活性化

- ・地域資源を活かした産業の活性化等

③地域の中心部の機能強化・地域全体を見据えた医療、商業などの機能強化・連携

都市部

- ・医療施設
- ・商業施設
- ・学校施設
- 等の都市施設等の集積

④地域間交流の促進

- ・物販所、道の駅など交流拠点等での人、物、情報等の交流・連携
- ・地域資源を活かしたグリーンツーリズムの推進



みんなで育もう『地域の宝』

～文化や伝統、歴史、風土など地域資源を生かした地域づくり～

県の重点プログラム
を推進する事業

取組みの目的

本県の多彩な風土や観光資源、地域資源（地域の宝）を活用し、個性と魅力ある美しい地域づくりや、交流人口の拡大に結びつく施策を地域団体・住民や市町村とともに考え、地域に愛着と誇りを持ち、未来に希望が持てる地域社会の実現を目指します。

実施予定箇所

- ①羽州・奥州街道地区(桑折町・国見町)
- ②熱海地区(郡山市)
- ③南湖公園地区(白河市)
- ④宮下地区(三島町)
- ⑤喜多方中心市街地地区(喜多方市)
- ⑥伊南川周辺地区(南会津町ほか)
- ⑦あぶくまロマンチック街道(飯館村ほか) **新規**
- ⑧遠野地区(いわき市) ほか



実施の状況

取組みの内容

○「地域の宝」に光をあて、懇談会をとおしながら住民主体の地域づくり活動を行い、その地域に真に必要な社会資本整備（道路拡幅、歩行空間確保、交流広場整備、案内板整備など）を行います。



<里山風景の保全(あぶくまロマンチック街道)>



田舎に住んで民家！？

【新規】

～定住・二地域居住を進めるため、居住環境の向上に努めます～

県の重点プログラム
を推進する事業

取組みの目的

人口減少により空き家が増加している一方で、これらの空き家を地方に住みたいという定住・二地域居住へのニーズへ提供できない状況がみられる。そこで、県外や県内の移住希望者等に対して、魅力ある理想の住まいを探し出せる環境と安心して暮らせる居住環境の整備を、市町村や建築等関係団体などと連携して支援します。

相談対応のイメージ図

【 県外からの相談 】



相談

【 県内からの相談 】



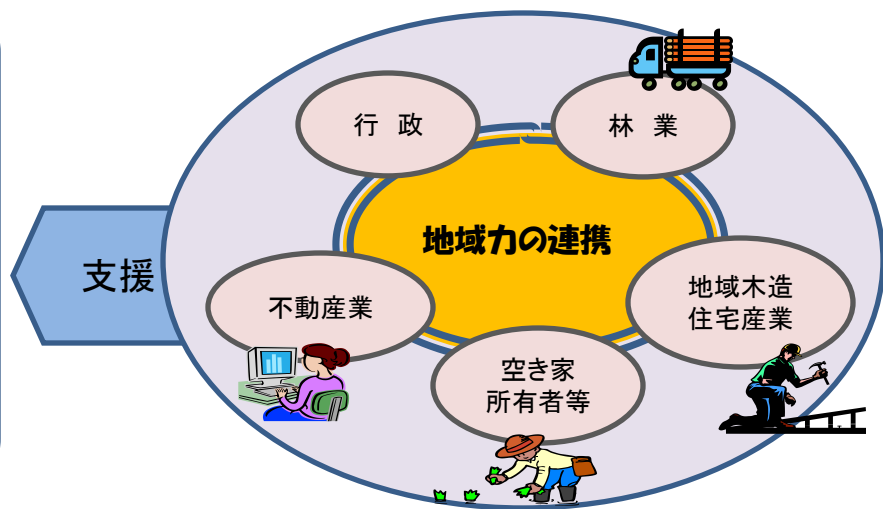
相談



(仮称) 空き家・古民家
相談センター

- ・住宅改修やその費用に関する相談
- ・不動産に関する相談や情報提供
- ・暮らし全般に関する相談や情報提供

支援





“魅力いっぱい” 磐梯吾妻、来て！見て！食べて！事業

～観光有料道路を核として、磐梯吾妻地域の魅力の向上に努めます。～

県の重点プログラム
を推進する事業

取組みの目的

観光有料道路が結ぶ磐梯吾妻地域の魅力を再発見し、観光の振興を図るため、この地域の市町村、商工団体、観光団体等、関係機関が連携して実施する広報活動やイベント等を支援します。

取組みの内容

【磐梯吾妻観光推進協議会が実施する事業】

- 戦略キャンペーン事業
 - ・プレミアム特典付の観光有料道路セット券を発売し、磐梯吾妻地域への誘客や交流人口の拡大を図ります。
- 総合PR事業
 - ・ホームページでの情報提供やプレゼント応募で収集した意見を参考に効率的なPRを実施します。
 - ・写真コンテストを実施し、地域の魅力を再発見します。
- 高地トレーニング事業
 - ・健康やスポーツといった新たな視点での魅力をPRするため、ジュニア・シニア・市民ランナーを対象に高地トレーニング教室を開催します。

実施予定

- ・観光有料道路プレミアム特典付セット券の発売（4月～9月）
- ・磐梯吾妻アクティブガイド（磐梯吾妻地域PR用のリーフレット）を関東方面を中心に配布
- ・写真コンテストの実施
（募集期間：4月～11月）
- ・高地トレーニング教室の開催
（ルディックウォーク、ルイイ10km走等）
- ・そばマップを花見山等で配布



<高地トレーニング教室>

実施の状況

- ・観光有料道路プレミアム特典付セット券の発売
- ・写真コンテストの実施



<H21年度版観光有料道路セット券> <H21年度写真コンテスト最優秀作品>



取組の主体

○磐梯吾妻観光推進協議会（事務局：道路計画課、福島県道路公社）

<構成員> 市町村…福島市、北塩原村、磐梯町、猪苗代町 商工団体…福島市商工会議所 他3団体
観光団体…福島県観光物産交流協会 他8団体 環境団体…自然公園財団
有料道路関係…福島県道路公社 県機関…観光交流課、自然保護課、道路計画課



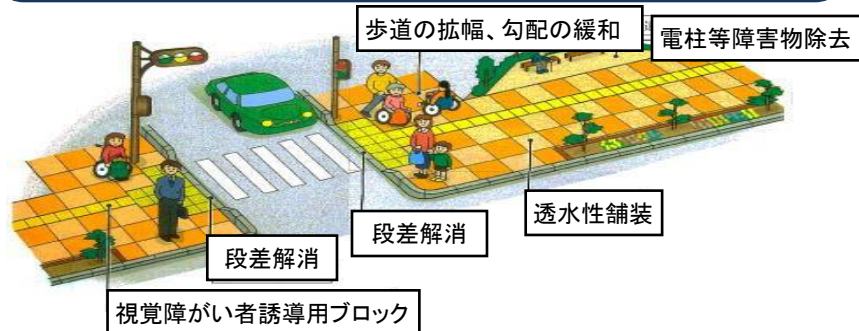
人にやさしく安全で快適な歩行環境づくり

～全ての人が安心して通れる歩行空間の創出～

県の重点プログラム
を推進する事業

取組みの目的

ユニバーサルデザインに配慮し、車いす利用者や高齢者、障がい者など全ての人が自由に移動でき、安心して生活ができる「思いやり」のある社会の実現を支援します。

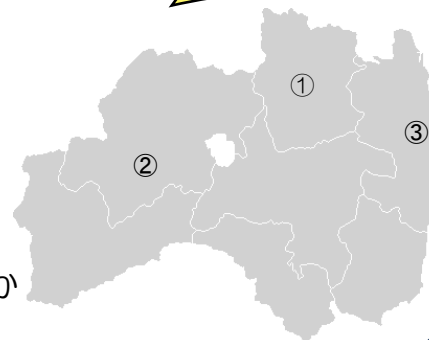


取組みの内容

- 地域の方々との現地調査や意見交換などを実施し、適確なニーズ把握に努めます。
- 安全で使いやすい歩道の整備を推進します。
- 既存歩道の段差解消や勾配の緩和のほか歩道を広げるなど安全で歩きやすい歩行空間を整備します。
- 側溝の蓋掛けや幅広路肩など地域の実情に応じた歩行者の安全確保に努めます。

実施予定箇所

- ①福島飯坂線
「平野工区」(福島市)
- ②国道400号
「阿久戸工区」(昭和村)
あくと おはまあざまちせん
- ③小浜字町線
「旭町工区」(南相馬市) ほか



実施の状況

福島飯坂線(平野工区)「段差解消・勾配の緩和・滑りにくく靴のかかところが落ち込まない側溝蓋の採用・防護柵の更新」



会津柳津停車場線(一王町工区)「段差解消・車道を狭め安全な歩行空間を確保」





進めます！“みんなにやさしい”公共建築

～すべての人が安全に安心して利用できるよう、県有建築物の改修を進めます～

県の重点プログラム
を推進する事業

取組みの目的

県有建築物について、ユニバーサルデザインの考え方にに基づき、高齢者や障がい者を含むすべての人々が安全に安心して利用できるよう、改修等を進めます。

取組みの内容

施設利用者等のニーズを的確に捉えながら、「人にやさしいまちづくり条例」の整備基準に沿った改修等を行います。

○段差の解消、手すりの設置、点字ブロックの敷設、出入口幅員の確保、扉の改修、エレベーターの設置などを行います。

○誰もが使いやすい「みんなのトイレ」や授乳室などを整備します。

実施予定箇所

- ①本宮警察署
- ②須賀川警察署
- ③三春警察署
- ④喜多方警察署
- ⑤いわき東警察署（設計のみ）

※対象全80棟のうちH22年度末で76棟が完了予定



実施の状況



みんなのトイレを設置



手すり・スロープで段差を解消



デザイン改善に向けた利用者の皆さんによるワークショップ



エレベーターを設置

会津若松合同庁舎の例



緊急橋りょう改修事業 外

～県民の安全・安心を守るため、戦略性を持ち計画的に橋りょうの補修、補強を行います

- 緊急橋りょう改修費
- 道路橋りょう調査費
- 橋りょう補修費（補助）
- 地域活力基盤整備費
- 地域自立・活性化事業費
- 地方特定道路整備費
- 道路再生事業費

県の重点プログラム
を推進する事業

取組みの目的

- 高度成長期に集中して整備され、今後急速に老朽化が進む橋梁について、計画的に長寿命化対策を行い、「いつでも、いつまでも」県民の安全な生活を支えます。
- 役場や避難所などの防災拠点を結ぶ緊急輸送路における橋梁の耐震化により、震災時の早期復旧を支援します。

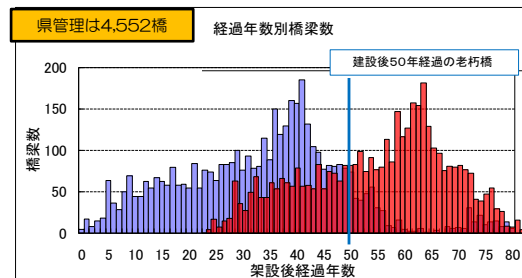
取組みの内容

- 橋梁の橋梁補修（長寿命化対策）
橋梁を良好な状態に保つため、橋桁の補修や再塗装等を行い、長寿命化を図ります。
- 橋梁の耐震補強（震災対策）
地震による橋桁の落下や、橋脚の被災を防止するため、桁及び下部工に必要な補強を行い、倒壊などの被害を防止します。

取組みの効果

- 橋梁の長寿命化により、長期的な維持管理費用の縮減や安全性の向上が図られ、県民生活の安全・安心が確保されます。
- 橋梁の文化的価値の保全や景観の向上が図られます。
- 緊急輸送路における橋梁の耐震性向上が図られ、震災に強い道路ネットワークの形成が図られます。

事業イメージ



＜橋梁の架設後経過年数＞

【現在】

建設後50年を経過した橋梁は約1割。

【20年後】

建設後50年を経過した橋梁が約6割に増加。

計画的、重点的な施設の長寿命化対策が必要！

※H19から実施の初回定期点検はH21年度で全橋完了。
※定期点検に基づく長寿命化修繕計画はH22年度で策定完了予定。

【橋梁補修（長寿命化対策）】

補修前 (一)仁井田郡山線
牛庭橋



劣化した桁の補修により
橋の長寿命化を図ります。



塗装等により耐久性の向上や景観の向上を図ります。

(一)山口渡利線 松齢橋
補修後イメージ

＜補修予定橋梁数＞

H22年度は
約80橋について
長寿命化対策に
着手します。

【耐震補強（震災対策）】



桁の落橋防止
(落橋防止装置設置)



橋脚の倒壊防止
(コンクリート巻き立て)

＜耐震補強の進捗状況＞

【要対策数】

緊急輸送路の耐震化が必要な橋梁は
255橋。

【H22年度末予定】

うち、H22年度
末で249橋が
対策完了予定。

(H22年度は12橋について耐震対策を実施します)



災害は水から（自ら）守って安全・安心！

～ソフト・ハードが一体となった治水対策を進め、県民の生命・財産を守ります～

県の重点プログラム
を推進する事業

取組みの目的

豪雨災害から県民の生命・財産を守るため、河川の整備や防災情報などの提供を行い、地域と連携した減災体制を構築します。

実施予定箇所

河川の整備

- ①桜川(三春町)
 - ②右支夏井川(小野町) ほか
- 洪水予報の提供
- ③宇多川(相馬市)

集中豪雨から命を守るプロジェクト事業(県内8方部)



H12,8,5 集中豪雨
桜川の洪水状況(平成12年8月)



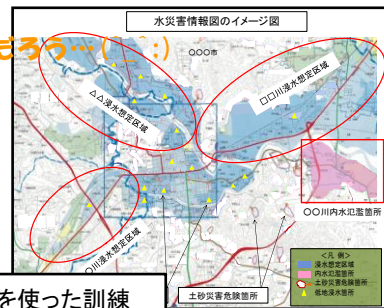
桜川とまちづくりを考える
ワークショップ(平成21年)

実施の状況

いざという時、どこに逃げればよいのだろうか…(;)



水災害情報図を使った訓練



川を広げ、調節池を整備したことにより
安全になりました！(;)

整備前

河川の整備(湯本川・いわき市)

整備後

取組みの内容

- 洪水による浸水被害が頻発している市街地河川を重点的に整備し、家屋などの浸水被害を解消します。
- 集中豪雨から命を守るための出前講座や、水災害情報図・洪水予報などの情報提供を行い「犠牲者ゼロ」への取り組みを進めます。



安全安心ふくしまの家づくりの推進

～地震などの災害に強い住宅づくりを支援します～

県の重点プログラム
を推進する事業

取組みの目的

安全で安心して暮らせる地域社会を形成するため、生活の基礎となる住宅の安全安心を確保し、より良質な住宅のストック形成を推進します。

取組みの内容

- 耐震化普及啓発技術者派遣事業
耐震に関する普及啓発のため、市町村で実施する地区説明会等へ専門技術者を派遣します。
- 木造住宅耐震改修講習会
住宅の耐震改修に関する技術力向上のため建築士等に対する講習会を開催します。
- 安全安心耐震促進事業
緊急輸送道路に面する地区や倒壊のおそれがある住宅の密集する地区、市町村耐震改修促進計画で定める重点地区等で木造住宅耐震診断を実施する市町村を支援します。

実施の状況

県民への普及啓発
＜地区での専門家による説明会を開催＞



技術力向上
＜建築士等への講習会開催＞



＜木造住宅耐震診断の実施＞



＜耐震改修事例：筋交い補強例＞





土砂災害から守るみんなの命

～ソフト・ハードが一体となった土砂災害対策を進め、県民の生命・財産を守ります～

県の重点プログラム
を推進する事業

取組みの目的

砂防えん堤等のハード対策や土砂災害警戒区域等指定のソフト対策を進め、土砂災害から県民の生命と財産を守り、安全で安心できる生活環境を確保します。



太陽の国(西郷村)
平成10年8月被災



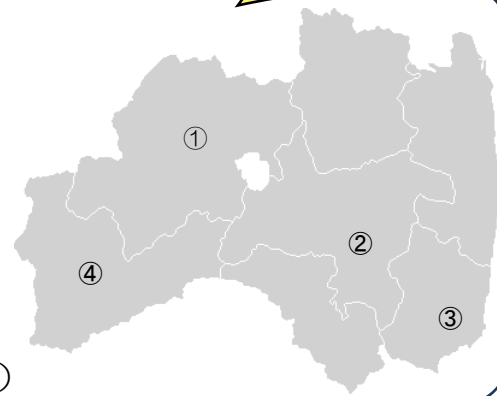
砂防えん堤による土石流対策
平成11年7月完成

取組みの内容

- 被災箇所等、災害の危険性の高い箇所や災害時要援護者関連施設のある土砂災害危険箇所を重点的に整備します。
- 土砂災害から身体・生命を守るための警戒避難体制の支援のため、土砂災害警戒区域等の指定を進めます。

実施予定箇所

- ①土石流対策
「北原沢」(会津坂下町)
- ②急傾斜地対策
「桜町2号」(石川町)
- ③地すべり対策
「菅谷地区」(いわき市)
- ④ソフト対策
基礎調査(南会津町ほか)



実施の状況



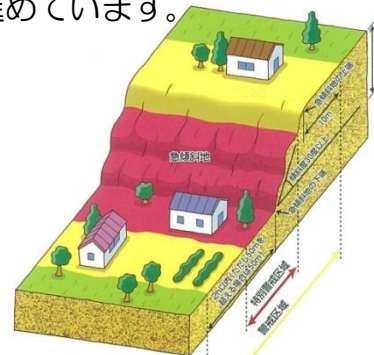
災害時要援護者関連施設(幼稚園)

急傾斜地対策



地すべり対策

※災害時要援護者関連施設(老人福祉施設、病院、幼稚園など)への対策は、保健福祉部などと連携して進めています。



基礎調査
(土砂災害警戒区域イメージ図)